

(様式第10)

4京医大第798号

令和 4年 9月 28日

厚生労働大臣 殿

開設者名 京都府公立大学法人

理事長 金田 章裕

京都府立医科大学附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和3年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465
氏名	京都府公立大学法人

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

京都府立医科大学附属病院
--------------

3 所在の場所

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上る梶井町465
電話( 075 ) 251 - 5111

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有						
内科と組み合わせた診療科名等							
<input type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
<input type="radio"/>	5神経内科	<input type="radio"/>	6血液内科	<input type="radio"/>	7内分泌内科	<input type="radio"/>	8代謝内科
<input type="radio"/>	9感染症内科	<input type="radio"/>	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	<input type="radio"/>	11リウマチ科		
診療実績							
「神経内科」の診療内容は脳神経内科で提供している。 「感染症内科」の診療内容は内科で提供している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

## (2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科	○	3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科	○	7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

## (3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

## (4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
	1小児歯科		2矯正歯科		3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。  
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

## (5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	移植外科	2	小児心臓血管外科	3	形成外科	4	リハビリテーション科	5	病理診断科
6	脳神経内科	7	内分泌・糖尿病・代謝内科	8	内分泌・乳腺外科	9	精神科・心療内科	10	救急医療科
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

## 5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
118		54		893	1065

(単位:床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	261	304	557.2
歯科医師	5	22	27
薬剤師	57	6	61.2
保健師	0	0	0
助産師	39	3	41.1
看護師	743	68	792.3
准看護師	0	1	0.2
歯科衛生士	8	0	8
管理栄養士	9	6	14.2

職種	員数
看護補助者	60
理学療法士	17
作業療法士	7
視能訓練士	10
義肢装具士	0
臨床工学士	20
栄養士	4
歯科技工士	2
診療放射線技師	59

職種	員数	
診療エックス線技師	0	
臨床検査	臨床検査技師	77
	衛生検査技師	0
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0	
医療社会事業従事者	3	
その他の技術員	18	
事務職員	231	
その他の職員	12	

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	64	眼科専門医	19
外科専門医	71	耳鼻咽喉科専門医	11
精神科専門医	9	放射線科専門医	26
小児科専門医	29	脳神経外科専門医	11
皮膚科専門医	8	整形外科専門医	24
泌尿器科専門医	12	麻酔科専門医	28
産婦人科専門医	17	救急科専門医	13
		合計	342

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。  
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 ( 夜久 均 ) 任年月日 平成 31 年 4 月 1 日

平成17、18、19、20、21年度 医療安全管理部長

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	431.2 人	2.4 人	433.6 人
1日当たり平均外来患者数	1782.4 人	168.8 人	1951.3 人
1日当たり平均調剤数		1047	剤
必要医師数		118	人
必要歯科医師数		7	人
必要薬剤師数		16	人
必要(准)看護師数		280	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
			病床数		心電計	
集中治療室	328.1 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート	15 床	有	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合]	床面積	181.7	m <sup>2</sup>	病床数	9 床
	[移動式の場合]	台数	9	台		
医薬品情報管理室	[専用室の場合]	床面積	37		m <sup>2</sup>	
	[共用室の場合]	共用する室名				
化学検査室	211 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	生化学自動分析装置、免疫自動分析装置、検体前処理装置、全自動グリコヘモグロビン測定装置、血糖検査機器、多項目自動血球分析装置、凝固検査機器、全自動細胞解析装置		
細菌検査室	216.29 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	安全キャビネット、全自動血液培養検査装置、細菌同定検査装置、薬剤感受性検査装置、抗酸菌遺伝子検査装置、抗酸菌液体培養検査装置		
病理検査室	260.23 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	安全キャビネット、ホルマリン対策局所廃棄装置、写真撮影装置、脱脂脱水包埋装置、自動染色機、クライオスタット、硬組織用切断機、自動封入機、顕微鏡システム、画像データベース、バーチャルスライドシステム		
病理解剖室	75 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	L地形ステンレス解剖台、写真撮影装置、ディープフリーザー、消毒装置、マクロ標本棚、体液吸引装置、脱脂脱水包埋装置		
研究室	3792 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート	(主な設備)	核磁気共鳴装置、スペクトロメーター、画像解析装置、遠心器、マイクローム、光度計、血液分析装置		
講義室	616 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート	室数	4 室	収容定員	420 人
図書室	1080 m <sup>2</sup>	鉄骨鉄筋コンクリート	室数	27 室	蔵書数	14,000 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。  
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	81.3	%	逆紹介率	99.8	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数		14671		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		20157		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1301		人
	D: 初診の患者の数		20204		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
松村 由美	京都大学医学部附属病院	○	特定機能病院の医療安全管理体制に精通している。	無	1
平野 哲郎	立命館大学法科大学院 法務研究科		法律研究者として関係の法律に精通している。	無	1
伊藤 英樹	広島大学病院 医療安全管理部		医療安全管理に関する専門的知識を有している。	無	1
秋篠 憲一			本院の患者として医療を受ける者の代表	無	2

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。  
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者  
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)  
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
京都府公立大学法人のホームページに掲載	





(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	該当なし	取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	
扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績等

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	4	56	ベーチェット病	74
2	筋萎縮性側索硬化症	43	57	特発性拡張型心筋症	53
3	脊髄性筋萎縮症	2	58	肥大型心筋症	7
4	原発性側索硬化症	3	59	拘束型心筋症	1
5	進行性核上性麻痺	21	60	再生不良性貧血	25
6	パーキンソン病	135	61	自己免疫性溶血性貧血	3
7	大脳皮質基底核変性症	6	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	3
8	ハンチントン病	2	63	特発性血小板減少性紫斑病	43
9	神経有棘赤血球症	1	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	10	65	原発性免疫不全症候群	6
11	重症筋無力症	95	66	IgA 腎症	99
12	先天性筋無力症候群	1	67	多発性嚢胞腎	46
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	75	68	黄色靱帯骨化症	17
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	27	69	後縦靱帯骨化症	55
15	封入体筋炎	4	70	広範脊柱管狭窄症	16
16	クロー・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	68
17	多系統萎縮症	7	72	下垂体性ADH分泌異常症	6
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	52	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライゾーム病	8	74	下垂体性PRL分泌亢進症	3
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	2
21	ミトコンドリア病	14	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	20	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	15
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	45
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	1	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	12	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	11
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	43	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	78
30	遠位型ミオパチー	1	85	特発性間質性肺炎	15
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	30
32	自己食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	29
34	神経線維腫症	30	89	リンパ管筋腫症	1
35	天疱瘡	15	90	網膜色素変性症	13
36	表皮水疱症	2	91	バッド・キアリ症候群	0
37	膿疱性乾癬(汎発型)	13	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	ステーヴンス・ジョンソン症候群	22	93	原発性胆汁性肝硬変	40
39	中毒性表皮壊死症	10	94	原発性硬化性胆管炎	4
40	高安動脈炎	17	95	自己免疫性肝炎	16
41	巨細胞性動脈炎	12	96	クローン病	125
42	結節性多発動脈炎	16	97	潰瘍性大腸炎	306
43	顕微鏡的多発血管炎	43	98	好酸球性消化管疾患	2
44	多発血管炎性肉芽腫症	17	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	18	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	21	101	腸管神経節細胞僅少症	0
47	バージャー病	22	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	8	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	270	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	120	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	97	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	37	107	若年性特発性関節炎	19
53	シェーグレン症候群	40	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	15	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	5	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績等

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	1	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	16
113	筋ジストロフィー	11	163	特発性後天性全身性無汗症	8
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	2	167	マルファン症候群	6
118	脊髄髄膜瘤	3	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	1	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	4
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳	13	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん	0	175	ウィーバー症候群	0
126	性白質脳症	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	ベリー症候群	0	177	ジュベール症候群関連疾患	0
128	前頭側頭葉変性症	1	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	179	ウィリアムズ症候群	1
130	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	180	ATR-X症候群	0
131	先天性無痛無汗症	0	181	クルーゾン症候群	0
132	アレキサンダー病	1	182	アペール症候群	0
133	先天性核上性球麻痺	0	183	ファイファー症候群	0
134	メビウス症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	アイカルティ症候群	1	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	片側巨脳症	0	187	歌舞伎症候群	0
138	限局性皮質異形成	0	188	多脾症候群	0
139	神経細胞移動異常症	0	189	無脾症候群	0
140	先天性大脳白質形成不全症	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	ドラベ症候群	0	191	ウェルナー症候群	0
142	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー欠神てんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	1
144	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	194	ソトス症候群	0
145	レノックス・ガストー症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	ウエスト症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	大田原症候群	0	197	1p36欠失症候群	0
148	早期ミオクロニー脳症	0	198	4p欠失症候群	0
149	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	1	199	5p欠失症候群	0
150	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	環状20番染色体症候群	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	ラスマッセン脳炎	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	PCDH19関連症候群	0	203	22q11.2欠失症候群	2
154	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	1	204	エマヌエル症候群	0
155	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	ランドウ・クレフナー症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	レット症候群	1	207	総動脈幹遺残症	0
158	スタージ・ウェーバー症候群	0	208	修正大血管転位症	1
159	結節性硬化症	6	209	完全大血管転位症	2
160	色素性乾皮症	0	210	単心室症	2
160	先天性魚鱗癬	0			

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績等

## 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	1	259	レンチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	2	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	3	262	原発性高カイロミクロン血症	1
215	ファロー四徴症	3	263	脳髄黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	3	264	無 $\beta$ リポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	1	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	2	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	1	268	小條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	57	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2	271	強直性脊椎炎	18
224	紫斑病性腎炎	5	272	進行性骨化性線維異形成症	1
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	1	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	$\alpha$ 1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	2
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	2
240	フェニルケトン尿症	1	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1
241	高チロシン血症1型	0	289	クローンカイト・カナダ症候群	4
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸型)	0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	1
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	1	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジュール症候群	1
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	7
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	1	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシュヤー症候群	0
256	筋型糖原病	1	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	2	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	34

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績等

### 4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	321	非ケトース型高グリシン血症	0
308	進行性白質脳症	0	322	$\beta$ -ケトチオラーゼ欠損症	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
310	先天異常症候群	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	1	326	大理石骨病	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	1
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	328	前眼部形成異常	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症	1	329	無虹彩症	3
316	カルニチン回路異常症	0	330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	0
317	三頭酵素欠損症	0	331	特発性多中心性キャスルマン病	5
318	シトリン欠損症	0	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0	334	脳クレアチン欠乏症候群	0
			335	ネフロン癆	0
			336	家族性低 $\beta$ リポタンパク血症1(ホモ接合体)	0
			337	ホモシスチン尿症	0
			338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

取扱疾患件数	140
患者数計	2,974

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科診療料	・ハイリスク妊娠管理加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・ハイリスク分娩管理加算
・歯科診療特別対応連携加算	・後発医薬品使用体制加算1
・特定機能病院入院基本料(一般)7対1	・病棟薬剤業務実施加算1
・特定機能病院入院基本料(結核)7対1	・病棟薬剤業務実施加算2
・救急医療管理加算	・データ提出加算2
・超急性期脳卒中加算	・入退院支援加算2
・診療録管理体制加算1	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・医師事務作業補助体制加算1 20対1	・精神疾患診療体制加算
・急性期看護補助体制加算 25対1 看護補助者5割未満	・精神科急性期医師配置加算2のロ
・看護配置加算	・地域医療体制確保加算
・看護補助加算1	・特定集中治療室管理料2
・重症者等療養環境特別加算	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・無菌治療室管理加算1	・脳卒中ケアユニット入院医療管理料
・無菌治療室管理加算2	・総合周産期特定集中治療室管理料
・放射線治療病室管理加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・緩和ケア診療加算	・小児入院医療管理料2
・精神科応急入院施設管理加算	・緩和ケア病棟入院医療管理料1
・精神科身体合併症管理加算	・精神科急性期治療病棟入院料1
・摂食障害入院医療管理加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染対策向上加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・報告書管理体制加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び 歯科治療時医療管理料	・療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算
・一般不妊治療管理料	・ハイリスク妊産婦連携指導料1
・生殖補助医療管理料1	・ハイリスク妊産婦連携指導料2
・ウイルス疾患指導料の注2	・こころの連携指導料(Ⅱ)
・外来栄養食事指導料の注3	・がん治療連携計画策定料
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタ リング加算	・薬剤管理指導料
・糖尿病合併症管理料	・医療機器安全管理料1
・がん性疼痛緩和指導管理料	・医療機器安全管理料2
・がん患者指導管理料イ	・精神科退院時共同指導料1及び2
・がん患者指導管理料ロ	・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に掲げる遠隔モ ニタリング加算
・がん患者指導管理料ハ	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・がん患者指導管理料ニ	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・外来緩和ケア管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血 糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続 血糖測定器を用いる場合)
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・有床義歯咀嚼機能検査1のロ及び咀嚼能力 検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・精密触覚機能検査
・小児運動器疾患指導管理料	・骨髄微小残存病変量測定
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・BRCA1/2遺伝子検査(腫瘍細胞、血液)
・婦人科特定疾患治療管理料	・がんゲノムプロファイリング検査
・腎代替療法指導管理料	・角膜ジストロフィー遺伝子検査
・外来腫瘍化学療法診療料1	・遺伝学的検査
・外来腫瘍化学療法診療料 連携充実加算	・染色体検査の注2に規定する施設基準
・院内トリアージ実施料	・先天性代謝異常症検査
・夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看 護体制加算1	・抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体
・外来放射線照射診療料	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体 特異性同定検査)
・ニコチン依存症管理料	・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・検体検査管理加算(IV)	・CT撮影及びMRI撮影
・国際標準検査管理加算	・冠動脈CT撮影加算
・遺伝カウンセリング加算	・心臓MRI撮影加算
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・外来化学療法加算1
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・連携充実加算
・胎児心エコー法	・無菌製剤処理料
・ヘッドアップティルト試験	・歯科口腔リハビリテーション料2
・長期継続頭蓋内脳波検査	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・脳波検査判断料1	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・単線維筋電図	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・神経学的検査	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・補聴器適合検査	・がん患者リハビリテーション料
・黄斑局所網膜電図	・リンパ浮腫複合的治療料
・全視野精密網膜電図	・手術用顕微鏡加算
・ロービジョン検査判断料	・口腔粘膜処置
・コンタクトレンズ検査料1	・経頭蓋磁気刺激療法
・小児食物アレルギー負荷検査	・療養生活環境整備指導加算
・内服・点滴誘発試験	・療養生活継続支援加算
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)	・認知療法・認知行動療法1
・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)	・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)
・前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	・医療保護入院等診療料
・経気管支凍結生検法	・歯根端切除手術の注3
・画像診断管理加算1	・歯周組織再生誘導手術
・遠隔画像診断	・手術時歯根面レーザー応用加算

## (様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

## 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・広範囲顎骨指示型装置埋入手術	・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))
・多血小板血漿処置	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・硬膜外自家注入	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・エタノールの局所注入(甲状腺)	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・人工腎臓1	・網膜再建術
・下肢末梢動脈疾患指導管理加算	・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
・透析液水質確保加算及び慢性医事透析濾過加算	・人工中耳植込術
・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
・センチネルリンパ節加算	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・自家脂肪注入	・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)
・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)
・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
・椎間板内酵素注入療法	・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)
・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術支援機器を用いる場合)
・癒着性脊髄くも膜炎主述(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術支援機器を用いる場合)
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術支援機器を用いる場合)
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(過活動膀胱)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
・角結膜悪性腫瘍切除手術	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合)
・角膜移植術(内皮移植加算)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・羊膜移植術	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
・胸腔鏡下弁形成術	・胆管悪性腫瘍手術(臍頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・経カテーテル大動脈弁置換術	・体外衝撃波胆石破碎術
・経カテーテル弁置換術(経皮的肺動脈弁置換術)	・腹腔鏡下肝切除術
・胸腔鏡下弁置換術	・体外衝撃波膵石破碎術
・経皮的僧帽弁クリップ術	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・不整脈手術左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・経皮的中隔心筋焼灼術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・内視鏡的小腸ポリープ切除術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型城西動機交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・膀胱水圧拡張術
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・補助人工心臓	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)	・人工尿道括約筋植込・置換術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)
・腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、等	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・内視鏡的逆流防止粘膜切除術	・腹腔鏡下仙骨腫固定術
・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	・腹腔鏡下仙骨腫固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下膣式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がん限る。)

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下子宮癒痕部修復術	・粒子線治療医学管理加算
・体外式膜型人工肺管理料	・保険医療機関間の連携による病理診断
・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	・歯科矯正診断料
・輸血適正使用加算	・病理診断管理加算2
・輸血管理料 I	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・コーディネート体制充実加算	・口腔病理診断管理加算1
・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)	・
・同種クリオプレシピテート作製術	・
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・
・レーザー機器加算	・
・麻酔管理料(I)	・
・麻酔管理料(II)	・
・クラウン・ブリッジ維持管理料	・
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・
・CAD/CAM冠	・
・歯科技工加算1及び2	・
・放射線治療専任加算	・
・外来放射線治療加算	・
・高エネルギー放射線治療	・
・1回線量増加加算	・
・強度変調放射線治療(IMRT)	・
・画像誘導放射線治療(IGRT)	・
・定位放射線治療	・
・粒子線治療	・
・粒子線治療適応判定加算	・





## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
胃癌腹膜播種に特異的なmiRNAの分子機構解明と臨床応用	岩井 直人	消化器内科	2,080,000	補○ 委 文部科学省
感染制御法構築を目指した病原体生存因子の解明	廣瀬 亮平	消化器内科	2,080,000	補○ 委 文部科学省
脂肪膵炎動物モデルの構築と、脂肪膵炎の病態・脂肪膵における膵発癌機序の解明	三宅 隼人	消化器内科	1,820,000	補○ 委 文部科学省
抗腫瘍免疫におけるNK細胞と好中球細胞外トラップの相互作用に関する検討	土井 俊文	消化器内科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
正常免疫マウスでのがん免疫療法によるサイトカイン放出症候群の病態解明と新治療開発	岡山 哲也	消化器内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
Gut-muscle axisに着目したがんサルコペニアの病態解明と新規治療開発	石川 剛	消化器内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
高ずり応力状態下での消化管粘膜血管異形成の実態とその発症メカニズムの解明	井上 健	消化器内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
腸内細菌叢からみた過敏性腸症候群の病態解明	鎌田 和浩	消化器内科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
口腔内細菌叢を標的とした新規機能性ディスペプシア治療薬開発に向けた基盤研究	福居 顕文	消化器内科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
十二指腸粘膜関連細菌叢のDysbiosisから十二指腸癌発癌への機序・経路の解明	土肥 統	消化器内科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
熱ショック蛋白Apg-2のリポファジー抑制を介した肝脂肪化、肝発がん機序の解明	山口 寛二	消化器内科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
粘膜関連細菌叢と粘膜バリアを標的とした生活習慣病への治療応用	堅田 和弘	消化器内科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
Tolloid like 1遺伝子多型のNAFLDの病態における意義	瀬古 裕也	消化器内科	780,000	補○ 委 文部科学省
環状ジヌクレオチドに対する免疫応答と腸管炎症制御メカニズムの解明	尾松 達司	消化器内科	326,500	補○ 委 文部科学省
慢性肝疾患における門脈圧の流体力学的シミュレーション	石破 博	消化器内科	260,000	補○ 委 文部科学省

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
物理的科学的アプローチの併用した感染症に強い社会を目指した感染対策法の構築	廣瀬 亮平	消化器内科	7,499,700	補 委○	国立研究開発法人科学技術振興機構
実使用状況を忠実に再現した評価法に基づき有効性が実証された空間消毒及び環境消毒の実現を目指した機器開発研究	廣瀬 亮平	消化器内科	3,000,000	補 委○	国立研究開発法人科学技術振興機構
地域と拠点を結び世界へ展開する新規医療技術の研究・開発シーズA227 「高性能コールドスネアポリペクミー専用スネアの開発研究」	廣瀬 亮平	消化器内科	3,000,000	補 委○	国立研究開発法人科学技術振興機構
京丹後地域健康百寿因子探索研究と久山町研究・岩木町健診との連携多因子AI解析	的場 聖明	循環器内科	4,160,000	補○ 委	文部科学省
ミトコンドリア機能制御の基盤となるミトコンドリアー核ネットワークの包括的解明	星野 温	循環器内科	3,770,000	補○ 委	文部科学省
胎児プログラミングによるクローン性造血を標的とした新たな心血管病先制医療の構築	山田 浩之	循環器内科	2,860,000	補○ 委	文部科学省
精神科および循環器内科領域における電子カルテにネストされた実践的臨床試験	関 知嗣	循環器内科	2,755,589	補○ 委	文部科学省
αシスクレインの凝集抵抗性変異構造の網羅的探索と疾患予防応用	星野 温	循環器内科	2,600,000	補○ 委	文部科学省
多能性幹細胞とCRISPRスクリーニングを用いた拡張不全型心不全の治療標的探索	木谷 友哉	循環器内科	2,600,000	補○ 委	文部科学省
CRISPRスクリーニングによるマイトファジー制御機構の解明と心不全治療への応用	樋口 雄亮	循環器内科	2,340,000	補○ 委	文部科学省
末梢動脈疾患に対する積極的脂質低下療法によるプラーク退縮及び安定化効果の解析	矢西 賢次	循環器内科	1,085,456	補○ 委	文部科学省
慢性鼻副鼻腔炎は心房細動の発症要因になりうるか？	谷口 琢也	循環器内科	1,040,000	補○ 委	文部科学省
包括的高度慢性下肢虚血に対し、筋組織酸素飽和度(StO2)をモニタリングする近赤外線分光装置(NIRS)を使用した至適運動療法を確立する研究	的場 聖明	循環器内科	17,212,000	補 委○	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
血管老化・動脈硬化予防効果の解明	的場 聖明	循環器内科	7,000,000	補 委○	京都府農林水産技術センター農林センター
血管内皮細胞ウィルス感染の観点から明らかとするCOVID-19関連血栓症発症メカニズムと細胞老化の影響の解析	池田 宏二	循環器内科	10,400,000	補 委○	国立研究開発法人日本医療研究開発機構

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
血管内皮細胞ウイルス感染の観点から明らかとするCOVID-19関連血栓症発症メカニズムと細胞老化の影響の解析	池田 宏二	循環器内科	26,000,000	補 委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
高親和性ACE2による逃避変異を克服するCOVID-19治療薬の開発	星野 温	循環器内科	53,950,000	補 委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
高親和性改変ACE2によるウイルス変異抵抗性COVID-19治療薬の開発	星野 温	循環器内科	1,300,000	補○ 委 京都市 (産業観光局新産業振興室)
重症虚血肢に対し、筋組織酸素飽和度(StO2)をモニタリングする近赤外線分光装置(NIRS)を使用した至適運動療法を確立する研究	的場 聖明	循環器内科	26,375,910	補 委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
単一細胞遺伝子発現解析を用いたIgA腎症における免疫細胞の役割の網羅的解析	桐田 雄平	腎臓内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
尿細管上皮のNaチャンネル発現亢進を標的とした心腎連関に対する新規治療の確立	草場 哲郎	腎臓内科	910,000	補○ 委 文部科学省
間質圧の上昇が肺癌の病態に果たす役割の解明とその治療応用	徳田 深作	呼吸器内科	2,340,000	補○ 委 文部科学省
肺がんの「治療抵抗に関わるシグナル指向性」を標的とした画期的治療・診断法の開発	山田 忠明	呼吸器内科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
ALK肺がんにおける治療抵抗性の解明と克服治療の開発	谷村 恵子	呼吸器内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
Stevens-Johnson症候群気道粘膜障害における自己免疫機序の解明	金子 美子	呼吸器内科	910,000	補○ 委 文部科学省
COPDにおけるステムセルエイジングの改善を目的とした粘液線毛輸送活性化療法の開発	田宮 暢代	呼吸器内科	780,000	補○ 委 文部科学省
悪性腫瘍に伴う悪液質の標準治療の確立:フォローアップ研究	高山 浩一	呼吸器内科	1,690,000	補 委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
欧米化食によるDysbiosisを発酵食品が改善するメカニズムの解明	岡村 拓郎	内分泌・糖尿病・代謝内科	2,730,000	補○ 委 文部科学省
骨格筋におけるmiR-23bの糖代謝改善作用の解明	中西 尚子	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
自己反応性T細胞を標的とした緩徐進行1型糖尿病の進展予防法の解明	北川 暢子	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,560,000	補○ 委 文部科学省

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

### 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
発酵食品の腸-内臓連関を介した糖代謝改善機構の解明-マルチオミクス解析を用いて-	岡村 拓郎	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
microRNA/let-7の骨格筋萎縮・糖代謝における機能解析	岡田 博史	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
GAD反応性T細胞を標的とした根治的1型糖尿病治療の開発	北川 功幸	内分泌・糖尿病・代謝内科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
腸内環境改善による動脈硬化予防機能の実証試験	濱口 真英	内分泌・糖尿病・代謝内科	7,000,000	補 委○ 京都府農林水産 技術センター 農林センター
普遍的成熟B細胞腫瘍モデル細胞の網羅的遺伝子編集による高悪性度病態形成機序の解明	水谷 信介	血液内科	2,340,000	補○ 委 文部科学省
Galectin-9を介したマントル細胞リンパ腫のBCRシグナル活性化機序の解明	塚本 拓	血液内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
網羅的ゲノム編集生体内スクリーニング法による難治性B細胞リンパ腫治療標的の探索	水谷 信介	血液内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
多発性骨髄腫に対するRSK2標的化創薬研究	黒田 純也	血液内科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
MDA5の発現様式に着目した、皮膚筋炎に伴う急速進行性間質性肺疾患の発症機構解明	木田 節	膠原病・リウマチ・アレルギー科	2,340,000	補○ 委 文部科学省
進行性線維化を伴う膠原病関連間質性肺疾患における肺胞マクロファージの役割の解明	藤井 渉	膠原病・リウマチ・アレルギー科	2,340,000	補○ 委 文部科学省
患者由来iPS細胞を用いた疾患特異的pDCの、病態解析と治療への応用	井上 拓也	膠原病・リウマチ・アレルギー科	2,080,000	補○ 委 文部科学省
ドーパミン受容体を介する肺線維化の病因機序の解明と新規治療薬の開発	川人 豊	膠原病・リウマチ・アレルギー科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
iPS細胞由来免疫寛容性樹状細胞を用いた自己免疫疾患に対する新規細胞療法の開発	藤岡 数記	膠原病・リウマチ・アレルギー科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
解糖系酵素(PGK)活性促進による新規パーキンソン病治療戦略	笠井 高士	脳神経内科	2,080,000	補○ 委 文部科学省
腸内細菌による脳梗塞発症機序の解明	渡辺 明子	脳神経内科	1,690,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
脳小血管病関連遺伝子に着目した一般集団における大脳白質病変の解析	水田 依久子	脳神経内科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
濾胞性T細胞の重症筋無力症における免疫学的指標としての検討	芦田 真士	脳神経内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
多発性硬化症の臨床的多様性の背景にある免疫病態の解析と病態バイオマーカーの探索	藤井 ちひろ	脳神経内科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
脳細胞由来エクソソームによるパーキンソン病と関連疾患の血液バイオマーカーの確立	大道 卓摩	脳神経内科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
アレキサンダー病発症に関与する遺伝的修飾因子の探索	安田 怜	脳神経内科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
フラクタル幾何学を用いた大脳白質病変進展の解析	水野 敏樹	脳神経内科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
難治性多発性硬化症で増加する腸内細菌種、細菌代謝機能が宿主へ及ぼす影響の解明	竹脇 大貴	脳神経内科	800,000	補○ 委 文部科学省
特発性全般てんかんの社会的認知機能-表情認知機能システムの解明	田中 章浩	脳神経内科	520,000	補○ 委 文部科学省
超音波検査・高密度表面筋電図同時測定システムによるサルコペニアの筋機能解明	辻 有希子	脳神経内科	260,000	補○ 委 文部科学省
ウェアラブル端末を用いたバイオメカニクス解析によるCMTのトレーニング理論の提案	能登 祐一	脳神経内科	130,000	補○ 委 文部科学省
ショウジョウバエ神経疾患モデルによるミトコンドリア軸索輸送障害の解明と治療開発	森井 芙貴子	脳神経内科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
パーキンソン病の遠隔診療を可能にするウェアラブル歩行機能モニタリングツールの開発	森井 芙貴子	脳神経内科	824,000	補○ 委 京都市 (産業観光局 新産業振興室)
ダウン症候群患者における認知症の早期発見アプリケーション開発	笠井 高士	脳神経内科	1,227,000	補○ 委 京都市 (産業観光局 新産業振興室)
細胞容積調整機構に注目した細胞生理学的アプローチによる大腸癌幹細胞機能解析	工藤 道弘	消化器外科	2,470,000	補○ 委 文部科学省
NADPH oxidase 5とROSの細胞内輸送による大腸癌進展機序の解明	清水 浩紀	消化器外科	2,080,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

### 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
食道癌の分泌型癌抑制microRNAを用いた治療感受性予測・核酸治療法の開発	藤原 斉	消化器外科	1,820,000	補○ 委 文部科学省
膵癌幹細胞に高発現する炎症性サイトカイン受容体を標的とした新規治療法の開発	小菅 敏幸	消化器外科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
癌幹細胞に発現する電位依存性カルシウムチャンネルを標的とした胃癌新規治療法の開発	塩崎 敦	消化器外科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
胃癌における容積活性化アニオンチャンネルVAACの機能解析と低浸透圧療法への応用	當麻 敦史	消化器外科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
消化器癌における新規癌関連遺伝子PBK/TOPKの癌化機構の解明と臨床応用	大橋 拓馬	消化器外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
膵癌幹細胞に発現する電位依存性カリウムチャンネルを標的とした新規治療法の開発	原田 恭一	消化器外科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
癌幹細胞に対するカルシウム輸送体制御による低浸透圧細胞破壊治療法の開発	竹本 健一	消化器外科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
生体内組織工学技術による結合組織膜を用いた先天性心疾患に対する肺動脈拡大術の試み	山南 将志	心臓血管外科	3,176,952	補○ 委 文部科学省
患者の体内で再生する自家結合組織代用血管の臨床応用の適応拡大をめざした多角的研究	神田 圭一	心臓血管外科	3,120,000	補○ 委 文部科学省
高圧処理自家皮膚組織の“自己体内再生型”血管補填材料としての応用	山南 将志	心臓血管外科	1,950,000	補○ 委 文部科学省
組織再生能を最大限に誘導できる同種由来再生代用血管の脱細胞化処理法最適化への試み	川尻 英長	心臓血管外科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
特殊施設を要さず手術室内で実現する、同種移植用・生体内再生誘導型代用血管の開発	渡辺 太治	心臓血管外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
同種・異種動物体内で作成する高信頼性生体内組織工学代用血管の最適な化学処理法開発	井上 知也	心臓血管外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
先天性心疾患の外科治療における生体組織工学を用いた自己結合組織膜の臨床応用	前田 吉宣	心臓血管外科	780,000	補○ 委 文部科学省
原発性肺癌におけるSpread Through Air Spaceの分子病態解明	井上 匡美	呼吸器外科	3,900,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

### 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
乳癌の癌治療関連骨減少に対するロモソズマブの有用性の検討	田口 哲也	内分泌・乳腺外科	910,000	補○ 委 文部科学省
アルゴンによる移植腎保護効果と至適投与法の前臨床ミニプタ実験による解明	昇 修治	移植・一般外科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
骨髄由来抑制細胞による制御性T/B細胞誘導を用いた移植免疫寛容誘導に関する研究	中村 緑佐	移植・一般外科	1,128,516	補○ 委 文部科学省
神経芽腫モデルマウスを用いたGD2抗体発現間葉系幹細胞による新規細胞免疫療法開発	田尻 達郎	小児外科	4,160,000	補○ 委 文部科学省
MRFs導入筋細胞分化と生体内組織形成技術による機能的骨格筋シートの開発	文野 誠久	小児外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
転移性神経芽腫シンジェニックマウスモデルによる外科治療戦略の最適化研究	坂井 宏平	小児外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
横隔膜ヘルニア中動物モデルを用いたエクソソーム気管内投与による新規胎児治療の開発	高山 勝平	小児外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
間葉系幹細胞由来エクソソーム羊水腔投与による横隔膜ヘルニアに対する胎児治療の開発	古川 泰三	小児外科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
進行神経芽腫に対するMEK阻害剤の臨床応用に向けた耐性メカニズム探索	田中 智子	小児外科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
胆道閉鎖症の肝外胆管における異常免疫とその増強因子の解析	東 真弓	小児外科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
新規乳房再建法確立に向けた注入可能な血管付き脂肪組織ボール(iPAT)の開発	素輪 善弘	形成外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
軟部悪性腫瘍に対する5-ALAを用いた超音波力学療法	河原崎 彩子	形成外科	780,000	補○ 委 文部科学省
In vitro血管化3次元脂肪組織を用いた乳房再建の臨床応用技術の確立(シーズA158)	素輪 善弘	形成外科	4,000,000	補 委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
体外培養ミニ乳房(iPATs)を用いた新しい乳房再建・増大法の開発	素輪 善弘	形成外科	1,287,812	補○ 委 京都市(産業観光局新産業振興室)
膠芽腫微小環境を含めたオートファジー機構の解析による新たな治療法の開発	武内 勇人	脳神経外科	2,340,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
神経膠腫オルガノイドバンク構築による個別化治療の開発	高橋 義信	脳神経外科	1,820,000	補○ 委 文部科学省
オプトジェネティクス導入神経幹細胞を用いた各前駆細胞の系統別再生機能評価	梅林 大督	脳神経外科	910,000	補○ 委 文部科学省
視覚芸術(漫画)を応用展開したインフォームドコンセントのイノベーション戦略	笹島 浩泰	脳神経外科	650,000	補○ 委 文部科学省
変形性関節症に対する新たな運動療法の確立ー低酸素によるHIF-1 $\alpha$ 制御を用いてー	新井 祐志	整形外科	3,052,810	補○ 委 文部科学省
関節リウマチのサルコペニアに対する分子生物学的手法を利用した低負荷運動療法の開発	中川 周士	整形外科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
新たな電気刺激法による骨格筋線維化予防ー効果的な2次性サルコペニア治療法の開発ー	遠山 将吾	整形外科	2,210,000	補○ 委 文部科学省
体内時計に着目した温熱療法による軟骨代謝制御機構の解明	大久保 直輝	整形外科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
骨折予防によるADL改善を目指してーUTEを用いた骨質評価法の確立ー	生駒 和也	整形外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
特発性大腿骨頭壊死症における大腿骨頭圧潰予防法の確立	林 成樹	整形外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
低酸素環境での新規分子HYBIDの制御による変形性関節症治療法の開拓	井上 裕章	整形外科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
新規photothermal DDSを用いた次世代OA温熱療法の開発	高橋 謙治	整形外科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
TSPAN12の骨肉腫細胞に対する影響	寺内 竜	整形外科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
成長軟骨板損傷の定量的予後判定の確立と成長軟骨板再生医療の開発	西田 敦士	整形外科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
小児脊柱側弯症に対する学校検診での早期発見と動的脊柱装具による早期治療	高取 良太	整形外科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
リハビリテーションの質を可視化するー健康長寿に向けた負荷量見える化の試みー	徳永 大作	整形外科	910,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
下腿義足の下肢アライメント予測ソフトウェアの開発 ～義足作製の標準化を目指して～	今井 寛	整形外科	910,000	補○ 委 文部科学省
関節リウマチに対するギャップ結合蛋白制御と運動療法による新規治療法の開発	土田 真嗣	整形外科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
鉄代謝制御因子ヘプシジンの解析による女性アスリート難治性貧血の病態解明	榎村 史織	産婦人科	2,470,000	補○ 委 文部科学省
子宮内膜症における自然リンパ球による免疫応答機構と病因病態への関与の解明	田中 佑輝子	産婦人科	2,210,000	補○ 委 文部科学省
動脈硬化リスクを軽減しうる安全なホルモン補充療法の分子基盤確立	伊藤 文武	産婦人科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
エストロゲン伝達経路を標的とした子宮体癌新規診断・治療・予防アプローチの提唱	森 泰輔	産婦人科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
IL-9を標的とした増殖・炎症・免疫を制御しうる新たな子宮内膜症治療戦略	垂水 洋輔	産婦人科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
ヘプシジンとPGC-1 $\alpha$ のクロストークに基づく子宮内膜症治療の分子基盤の確立	片岡 恒	産婦人科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
月経周期と妊娠における制御性T細胞サブセットの変動とその内分泌学的機序の解明	沖村 浩之	産婦人科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
子宮内膜症とそのホルモン治療が動脈硬化関連バイオマーカーに及ぼす影響について	前田 英子	産婦人科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
子宮体癌におけるエストロゲン関連受容体による治療抵抗性機構解明と新規治療法提唱	古株 哲也	産婦人科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
深部子宮内膜症の病態解明とステロイド合成酵素を標的とした新たな治療基盤の確立	小芝 明美	産婦人科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
CDK4/6阻害剤を用いた子宮体がん新規治療法の確立	山本 拓郎	産婦人科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
腫瘍溶解ウイルスを用いた横紋筋肉腫に対するCAR-T細胞療法補完システムの開発	細井 創	小児科	5,590,000	補○ 委 文部科学省
細胞内輸送障害と樹状突起形成異常が引き起こすSTXBP1脳症の病態機序の解明	戸澤 雄紀	小児科	2,470,000	補○ 委 文部科学省

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

### 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
難治性小児白血病の病態解析と新規治療標的の探索	今村 俊彦	小児科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
ミグリオールの非アルコール性脂肪性肝疾患 (NAFLD) への効果の機序解明	杉本 哲	小児科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
褐色脂肪細胞の分化・増殖メカニズムに着目した新規肥満治療薬の探索	森元 英周	小児科	1,552,687	補○ 委 文部科学省
CD19発現型AdVとCD19 CAR-T細胞を組み合わせた遺伝子細胞治療戦略	吉田 秀樹	小児科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
鶏卵漿尿膜法を利用した横紋筋肉腫組織移植3Dモデルの作成	菊地 颯	小児科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
神経芽腫の自然退縮・分化に関わる新規予後良好分子マーカーの検討と治療応用	家原 知子	小児科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
腫瘍近傍体液Exosome内microRNAによるラブドイド腫瘍の体液診断の開発	勝見 良樹	小児科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
レプチン・メラノコルチン系摂食抑制シグナルに着目した小児肥満のエクソーム解析	中島 久和	小児科	1,430,000	補 委○ 国立研究開発法人科学技術振興機構
固形腫瘍の腫瘍微小環境改善を目指した複合的遺伝子改変T細胞療法の開発	柳生 茂希	小児科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
エリスロポエチンの腎線維化と間質浸潤マクロファージに及ぼす影響の検討	西田 眞佐志	小児科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
腸管オルガノイドを用いた、好酸球による炎症性腸疾患への関与機構の解明	加納 原	小児科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
STXBP1でんかん性脳症におけるαシヌクレイン神経毒性の解明と標的治療の探索	千代延 友裕	小児科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
ACE2/Ang1-7系のDNAメチル化を介した褐色脂肪細胞分化機構の解明	森 潤	小児科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
エリスロポエチンの非アルコール性脂肪性肝疾患の治療に対する有用性の検証	都間 佑介	小児科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
KMT2A再構成陽性急性リンパ性白血病に対するCAR-T療法の開発	大曾根 眞也	小児科	1,040,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肥満を形成する食行動・食嗜好におけるMeCP2遺伝子の役割	福原 正太	小児科	1,039,922	補○ 委 文部科学省
拡散強調画像を用いた早産児の中枢神経評価と神経学的予後との関連性の解明	長谷川 龍志	小児科	520,000	補○ 委 文部科学省
小児およびAYA世代の横紋筋肉腫患者に対するリスク層別化臨床試験実施による標準的治療法の開発	細井 創	小児科	8,385,000	補 委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
EPHB4受容体高発現悪性固形腫瘍を対象とした非ウイルス遺伝子改変CAR-T細胞療法の第一相医師主導治験	柳生 茂希	小児科	121,972,565	補 委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
多層的オミックス解析によるSJS/TENの病態把握と予後向上に向けた戦略的研究	外園 千恵	眼科	5,460,000	補○ 委 文部科学省
エピジェネティック制御による眼窩壁骨折創傷治癒での線維化抑制効果の検討	山中 行人	眼科	3,223,325	補○ 委 文部科学省
緑内障濾過手術後の結膜下組織の恒常的な線維化抑制:永続的かつ安全な眼圧下降	山本 雄士	眼科	2,080,000	補○ 委 文部科学省
エピジェネティック制御機構による血管新生・瘢痕形成AMD病態の抑制	平本 菜央	眼科	1,950,000	補○ 委 文部科学省
網膜色素上皮細胞en face画像と硝子体液解析による黄斑微小環境の解明	田中 寛	眼科	1,820,000	補○ 委 文部科学省
角膜内皮細胞運命を規定する代謝プログラミングの階層性と組織機能不全病態の解明	丸山 悠子	眼科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
涙液油層機能を維持する生理活性脂質の応用をめざした基礎研究と臨床基盤の確立	横井 則彦	眼科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
細胞外小胞粒子を介するRPE/Mp相互作用解析による斬新な創薬標的創出	羽室 淳爾	眼科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
角膜内皮細胞における一次繊毛の角膜内皮疾患との関連性および機能解明	谷岡 秀敏	眼科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
miR-628による自然免疫を介した眼表面炎症制御機構の解明と新規治療法への応用	上田 真由美	眼科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
遺伝解析の統計的検出力を高めるための緑内障臨床情報クラスタリング手法の開発	森 和彦	眼科	1,560,000	補○ 委 文部科学省

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

### 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
次世代シーケンサーによる脂腺癌の発癌・転移遺伝子の解明と非観血的治療法の開発	渡辺 彰英	眼科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
Rhoキナーゼ阻害剤を用いた角膜内皮におけるprimary ciliaの機能解析	堀内 稔子	眼科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
蒙像知覚野の網膜における位置の同定と近視進行機序の解明	後藤 周	眼科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
偽落屑物質の構造解析による偽落屑症候群の病態解明	野々村 美保	眼科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
常在細菌叢と性ホルモンによるマイボーム腺脂質代謝制御機構及び眼表面疾患病態の解明	鈴木 智	眼科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
高齢発症の因果律としての緑内障発症抵抗遺伝子の同定と動態解析	池田 陽子	眼科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
網膜剥離の新たな低侵襲手術・上脈絡膜腔バックリングの最適化へ向けた基礎的研究	小嶋 健太郎	眼科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
角膜移植Graftの環境適応応答破綻に係る移植巣微小環境の解明	上野 盛夫	眼科	910,000	補○ 委 文部科学省
眼内液解析によるフォークト-小柳-原田病の病態解明	永田 健児	眼科	910,000	補○ 委 文部科学省
細胞間代謝干渉(同調、競合)によるヒト角膜内皮機能不全病態増悪回路の制御法開発	木下 茂	特任講座 感覚器未来医療学	7,280,000	補○ 委 文部科学省
長期予後成績に優れる移植用ヒト角膜内皮細胞選別法の確立	戸田 宗豊	特任講座 感覚器未来医療学	2,860,000	補○ 委 文部科学省
角膜再生医療のタイへの展開	外園 千恵	眼科	2,375,000	補 委○ 日本学術振興会
SJS/TEN眼後遺症の予後改善に向けた実用的研究	外園 千恵	眼科	10,400,000	補 委○ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
乳房外パジェット病の病態解明および新規治療法の開発	浅井 純	皮膚科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
進行期乳房外Paget病に対する免疫療法の開発	加藤 則人	皮膚科	1,560,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
アレルギー性皮膚疾患の炎症と痒みにおける血小板活性化因子の役割の解明	峠岡 理沙	皮膚科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
円形脱毛症におけるIKZF1の免疫制御機構の解明ならびに新規抗炎症治療薬への応用	荒川 幸保	皮膚科	910,000	補○ 委 文部科学省
前立腺癌外照射治療におけるアーチファクトレスマーカーの継続研究	沖原 宏治	泌尿器科	2,340,000	補○ 委 文部科学省
癌微小環境を標的としたV $\gamma$ 9V $\delta$ 2T細胞癌免疫細胞療法の基盤構築	清水 輝記	泌尿器科	1,950,000	補○ 委 文部科学省
生体内ダイレクト・リプログラミングによる膀胱平滑筋の再生	松原 弘樹	泌尿器科	1,689,926	補○ 委 文部科学省
前立腺がんにおける概日時計分子基盤と細胞分化制御異常の解明	大橋 宗洋	泌尿器科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
ダイレクト・リプログラミングによる間質性膀胱炎のin vivo再生治療	井上 裕太	泌尿器科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
機能未知ユビキチン様タンパク質を介した精巣腫瘍発症メカニズムの解明	上田 紗弥	泌尿器科	910,000	補○ 委 文部科学省
複数の前立腺癌病巣のうち個体の予後を規定する癌病巣を特定する研究	岩田 健	泌尿器科	390,000	補○ 委 文部科学省
尿感知型・尿失禁介護器の開発	内藤 泰行	泌尿器科	2,500,000	補 委○ 国立研究開発法人科学技術振興機構
医療費適正化に資する前立腺癌病巣標的化凍結治療:医師主導治験	浮村 理	泌尿器科	57,590,000	補 委○ 医療機器開発推進研究事業
三次元画像解析による排尿動態チェックシステム	内藤 泰行	泌尿器科	3,000,000	補 委○ 国立研究開発法人科学技術振興機構
声帯硬化性病変に対する再生医療の重症度に応じた体系化のための基礎的研究	平野 滋	耳鼻咽喉科	4,101,221	補○ 委 文部科学省
ヒト内耳オルガノイドにおける内耳感覚上皮幹細胞の同定と単離培養	中村 高志	耳鼻咽喉科	2,080,000	補○ 委 文部科学省
気道防御反射強化による嚥下性肺炎予防のための脳機能賦活化メカニズムの研究	布施 慎也	耳鼻咽喉科	1,950,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
声帯溝症に対する羊膜移植を用いた声帯再生医療開発のための基礎研究	平野 滋	耳鼻咽喉科	1,949,814	補○ 委 文部科学省
痙攣性発声障害の病態解明に迫る脳幹における発声中枢調整機構の解明	金子 真美	耳鼻咽喉科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
新規多重免疫組織化学法を用いた頭頸部癌不均一性と免疫的癌微小環境の解析	辻川 敬裕	耳鼻咽喉科	1,299,939	補○ 委 文部科学省
癌微小環境マッピングに基づく甲状腺濾胞癌の被膜浸潤機構の解明	大村 学	耳鼻咽喉科	1,170,000	補○ 委 文部科学省
頭頸部癌薬物療法による免疫微小環境変化に基づく治療効果予測バイオマーカーの開発	竹中 まり	耳鼻咽喉科	1,040,000	補○ 委 文部科学省
声帯癒痕に対する新規エストロゲン治療法の開発	椋代 茂之	耳鼻咽喉科	1,039,684	補○ 委 文部科学省
干渉波電気刺激および薬剤投与に伴う嚥下惹起制御機構の解明	杉山 庸一郎	耳鼻咽喉科	778,295	補○ 委 文部科学省
視運動性眼振・後眼振における視野角・空間周波数の違いによる視覚情報処理の解明	瀧 正勝	耳鼻咽喉科	650,000	補○ 委 文部科学省
バーチャルリアリティ技術を用いた契約場面における意思決定能力評価法の開発	加藤 佑佳	精神科・心療内科	2,210,000	補○ 委 文部科学省
精神科入院環境における暴力等の粗暴行為および違反行為に関する臨床疫学的研究	綾仁 信貴	精神科・心療内科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
認知症初期集中支援チームを利用した軽度行動障害への多職種連携早期介入モデルの構築	松岡 照之	精神科・心療内科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
内受容感覚の計算論モデルに基づいた身体症状症に対する評価指標の開発	上野 大介	精神科・心療内科	910,000	補○ 委 文部科学省
身体症状症および関連症群に対するグループ認知行動療法の効果の実証	富永 敏行	精神科・心療内科	780,000	補○ 委 文部科学省
電気けいれん療法がもたらす認知的柔軟性:脳画像変化からメカニズムを解明する	渡辺 杏里	精神科・心療内科	780,000	補○ 委 文部科学省
血管塞栓モデルを用いたコンピュータ流体解析によるNBCA-Lp混合液の動態解明	林 奈津子	放射線科	2,210,000	補○ 委 文部科学省

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
呼気ガス測定による陽子線治療後の気道炎症の非侵襲的モニタリングシステムの開発	木元 拓也	放射線科	2,080,000	補○ 委 文部科学省
国際標準化にむけた組織内照射とIMRTを用いた子宮頸がんの適応照射法の開発と評価	鈴木 弦	放射線科	1,950,000	補○ 委 文部科学省
数値モデルを用いた肝細胞がんに対するスキヤニング陽子線治療戦略最適化に向けた検討	尾方 俊至	放射線科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
乳房MRI・非腫瘍性造影効果に対するマルチパラメトリック診断手法の確立	後藤 真理子	放射線科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
低出生体重児の発達予測における画像バイオマーカーの開発	赤澤 健太郎	放射線科	910,000	補○ 委 文部科学省
陽子線治療スポットスキヤニング方式用新規レンジシフトベッドの開発	太田 誠一	放射線科	910,000	補○ 委 文部科学省
MRI画像による虚血ペナンプラ領域における再灌流後の最終梗塞巣の予測	田添 潤	放射線科	910,000	補○ 委 文部科学省
CFD解析を用いた球状塞栓物質の動態シミュレーション	三浦 寛司	放射線科	780,000	補○ 委 文部科学省
凍結療法における隣接臓器傷害防止のための生体吸収性バルーン型スパーサーの開発	廣田 達哉	放射線科	780,000	補○ 委 文部科学省
放射線治療ワークフローに即した深層学習を用いた新たな肺機能画像取得システムの開発	梶川 智博	放射線科	780,000	補○ 委 文部科学省
高い抗腫瘍効果と副作用軽減を同時に目指す新規放射線治療法	長澤 慎介	放射線科	650,000	補○ 委 文部科学省
子宮内膜症が子宮筋層にもたらす影響: MRIによる灌流、拡散、蠕動、硬度の検討	高畑 暁子	放射線科	520,000	補○ 委 文部科学省
空間把握能力を持ったCTガイド下穿刺補助デバイスの開発	増井 浩二	放射線科	520,000	補○ 委 文部科学省
呼吸位相を加味した3次元位置情報による標的体内運動の4次元解析システムの開発	相部 則博	放射線科	390,000	補○ 委 文部科学省
経直腸超音波とMRI画像fusionを用いた子宮頸癌の画像誘導小線源治療の開発	清水 大介	放射線科	1,560,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

(様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

### 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
画像診断 AI の開発に必要な教師データ精製に関する探索的研究	高橋 健	放射線科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
一次造血とその循環を担う内皮ネットワーク形成機構の解明	佐波 理恵	放射線科	2,080,000	補○ 委 文部科学省
X線治療装置由来の速中性子に起因するICD(植込み型除細動器)ソフトウェア断面積	松原 礼明	放射線科	1,586,037	補○ 委 文部科学省
膵臓がん細胞株Panc-1における IL-6による放射線抵抗性獲得機構の解明	玉利 勇樹	放射線科	780,000	補○ 委 文部科学省
脳MRI計測による活動—血流—温度の局所領域相関に関する研究	酒井 晃二	放射線科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
緑膿菌病原性抗原の血清抗体価大規模疫学調査と抗緑膿菌ガンマグロブリン製剤試作	佐和 貞治	麻酔科	4,160,000	補○ 委 文部科学省
新型コロナウイルス感染症に対する特異的高力価免疫グロブリン製剤の開発	木下 真央	麻酔科	2,600,000	補○ 委 文部科学省
敗血症誘発性高血糖病態におけるTxnipの役割解明と治療への展開	石井 祥代	麻酔科	2,080,000	補○ 委 文部科学省
慢性痛に対するTUDCA投与の治療効果の検証	山下 理比路	麻酔科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
緑膿菌由来エクソソームを用いた新規ワクチン療法の開発	加藤 秀哉	麻酔科	1,690,000	補○ 委 文部科学省
コンパートメントカルチャーを用いた神経障害性疼痛のメカニズム解明	柴崎 雅志	麻酔科	780,000	補○ 委 文部科学省
単球系細胞の小胞体ストレスによる食能低下に対し鎮静薬投与は保護的に作用するのか	飯田 淳	麻酔科	520,000	補○ 委 文部科学省
新規鎮痛因子GRK2インタラクトームとミトコンドリア連関による慢性痛治療の確立	天谷 文昌	疼痛・緩和 ケア科	6,240,000	補○ 委 文部科学省
活性型第XI因子拮抗薬の拮抗治療および凝固モニタリング法の確立	小川 覚	疼痛・緩和 ケア科	2,470,000	補○ 委 文部科学省
炎症性ミトコンドリアによる慢性痛発症の可能性とその機序の解明	天谷 文昌	疼痛・緩和 ケア科	2,210,000	補○ 委 文部科学省

小計 15

## (様式第3)

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
姿勢からみる高齢者の活動 ― 京丹後長寿コホート研究 ―	三上 靖夫	リハビリテーション科	650,000	補○ 委 文部科学省
病院ビッグデータ活用による費用対効果に優れた感染対策新規指標の作成及び実証	貫井 陽子	感染症科	2,051,816	補○ 委 文部科学省
硝子体疾患における眼内Tリンパ球6-color flow cytometry解析	稲葉 亨	臨床検査部	650,000	補○ 委 文部科学省
肝細胞における免疫反応と毛細血管破壊との関連の解明、移植後肝生検への応用	宮川 文	病院病理部	1,170,000	補○ 委 文部科学省
中間群および低悪性度に分類される原発性骨腫瘍の臨床病理学的解析	小西 英一	病院病理部	910,000	補○ 委 文部科学省
脳腸相関に着目した消化管グリアの動態と病態生理の解明	井村 徹也	病院病理部	520,000	補○ 委 文部科学省
院外心停止患者に対する生理学的指標を用いた心肺蘇生法の有効性の検討	松山 匡	救急医療科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
体内時計の乱れが歯周炎の病態に与える影響 ～マウスコホート系を用いた前向き研究～	小野 龍太郎	歯科	1,560,000	補○ 委 文部科学省
生体アパタイトの配行性・結晶性を有した骨オルガノイドの構築と臨床応用への展開	金村 成智	歯科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
架橋ナノゲルを用いた骨・軟骨オルガノイドの構築と量子ビームによるナノ構造解析	山本 俊郎	歯科	1,430,000	補○ 委 文部科学省
ケミカル・ダイレクト・コンバージョンによる機能性MSCsの創出と再生医療への応用	山本 健太	歯科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
細胞老化に着目した口腔粘膜炎に対する予防・治療薬の検討	大迫 文重	歯科	1,300,000	補○ 委 文部科学省
ラマン分光法を用いた単純ヘルペスウイルス感染と再活性化の分子機構の解明	足立 圭司	歯科	1,170,000	補○ 委 文部科学省

小計 13

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを  
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

計 253件

(様式第3-2)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Uchiyama K, Naito Y, Yagi N, Mizushima K, et al.	消化器内科	Identification of colorectal neoplasia by using serum bile acid profile	Biomarkers. 2021 Jul;26(5):462-467	Original Article
2	Higuchi Yusuke, Suzuki T, Arimori T,et al.	循環器内科	Engineered ACE2 receptor therapy overcomes mutational escape of SARS- CoV-2.	Nat Commun. 2021 Jun 21;12(1):3802.	Original Article
3	Shoji Keisuke, Wakana N, Zen K,et al.	循環器内科	Immunoglobulin G4-Related Coronary Artery Aneurysm-Associated Stent Migration.	JACC Case Rep. 2021 Dec 15;3(18):1895-1897.	Case report
4	Yashige Masaki, Zen K, Kadoya Y,et al.	循環器内科	Snaring wire technique during transcatheter aortic valve replacement.	Cardiovasc Interv Ther. 2021 Oct;36(4):555-556.	Case report
5	Shoji Keisuke, Wakana N, Zen K,et al.	循環器内科	Non-culprit ruptured vulnerable plaque healing and stabilization by an aggressive lipid-lowering therapy.	Int J Cardiovasc Imaging. 2021 Jun;37(6):1999- 2000.	Case report
6	Yamano Tetsuhiro, Zen K, Matoba S.	循環器内科	Similar Left Ventricular Mass Regression But Different Outcomes Between Women and Men Undergoing Transcatheter Aortic Valve Implantation - What Should We Learn From This Conflicting Result?	Circ J. 2021 Jun 25;85(7):989-990.	Case report
7	Honda Sakiko, Ikeda K, Urata R,et al.	循環器内科	Cellular senescence promotes endothelial activation through epigenetic alteration, and consequently accelerates atherosclerosis.	Sci Rep. 2021 Jul 16;11(1):14608.	Original Article
8	Fushimura Yohei, Hoshino A, Furukawa S,et al.	循環器内科	Orotic acid protects pancreatic $\beta$ cell by p53 inactivation in diabetic mouse model.	Biochem Biophys Res Commun. 2021 Dec 31;585:191-195.	Original Article
9	Shoji Keisuke, Zen K, Yanishi K,et al.	循環器内科	Partial stent extraction 14 months after stent implantation as a complication of cutting balloon.	Cardiovasc Interv Ther. 2021 Oct;36(4):532-534.	Case report
10	Kadoya Yoshito, Zen K, Yamao M,et al.	循環器内科	Transcatheter Aortic Valve Replacement in a Patient With a Protruding Left Main Coronary Artery Stent.	JACC Cardiovasc Interv. 2021 Oct 11;14(19):2185- 2186.	Case report
11	Nishi Masahiro, Yamano M, Matoba S.	循環器内科	Prediction of well-being and insight into work-life integration among physicians using machine learning approach.	PLoS One. 2021 Jul 15;16(7):e0254795.	Original Article
12	Ito Nobuyasu, Zen K, Kuwabara K,et al.	循環器内科	Recapture failure in transcatheter aortic valve replacement with CoreValve Evolut R.	Catheter Cardiovasc Interv. 2021 Sep;98(3):E486-E489.	Case report
13	Sugimoto Takeshi, Yamada H, Wada N,et al.	循環器内科	Repeated Social Defeat Exaggerates Fibrin- Rich Clot Formation by Enhancing Neutrophil Extracellular Trap Formation via Platelet- Neutrophil Interactions.	Cells. 2021 Nov 28;10(12):3344.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
14	Kadoya Yoshito, Zen K, Tamaki N, et al.	循環器内科	Prognostic value of cardiac 123 I-metaiodobenzylguanidine imaging for predicting cardiac events after transcatheter aortic valve replacement.	ESC Heart Fail. 2021 Apr;8(2):1106-1116.	Original Article
15	Shoji Keisuke, Zen K, Maeno M, et al.	循環器内科	Images in Vascular Medicine: Hydrophilic polymer emboli after percutaneous coronary intervention due to severe tortuosity and a calcified nodule of the aortic access route.	Vasc Med. 2021 Oct;26(5):572-573.	Case report
16	Sogabe Koji, Koide M, Fukui K, et al.	循環器内科	Optical coherence tomography analysis of late lumen enlargement after paclitaxel-coated balloon angioplasty for de-novo coronary artery disease.	Catheter Cardiovasc Interv. 2021 Jul 1;98(1):E35-E42.	Case report
17	Kadoya Yoshito, Zen K, Iida O, et al.	循環器内科	Thrombotic Lesions are Associated with Poor Outcomes after Endovascular Treatment in Patients with Non-Acute Aortoiliac Total Occlusions.	J Atheroscler Thromb. 2021 Dec 1;28(12):1323-1332.	Original Article
18	Yashige Masaki, Zen K, Kadoya Y, et al.	循環器内科	Combining the CoreValve Evolut PRO and 14-French eSheath in transfemoral transcatheter aortic valve replacement.	Cardiovasc Interv Ther. 2021 Apr;36(2):266-267.	Case report
19	Saburi Makoto, Yamada H, Wada N, et al.	循環器内科	Maternal High-Fat Diet Promotes Abdominal Aortic Aneurysm Expansion in Adult Offspring by Epigenetic Regulation of IRF8-Mediated Osteoclast-like Macrophage Differentiation.	Cells. 2021 Aug 27;10(9):2224.	Original Article
20	Yanagiuchi Takashi, Kato T, Hiroe T, et al.	循環器内科	A model for predicting the time of early symptomatic restenosis after infrapopliteal angioplasty in patients with critical limb ischemia.	Cardiovasc Interv Ther. 2021 Jul;36(3):330-337.	Original Article
21	Fujimoto Tomotaka, Yanishi K, Zen K, et al.	循環器内科	A very rare complication of subacute pericarditis: a case report of spontaneous coronary artery rupture.	Eur Heart J Case Rep. 2021 Nov 30;5(12):ytb484.	Case report
22	Kadoya Yoshito, Zen K, Tamaki N, et al.	循環器内科	Serial changes in cardiac sympathetic nervous function after transcatheter aortic valve replacement: A prospective observational study using 123I-meta-iodobenzylguanidine imaging.	J Nucl Cardiol. 2021 Sep 24. (オンライン)	Original Article
23	Shoji Keisuke, Zen K, Shiotsu Y, et al.	循環器内科	Successful Endovascular Treatment for Very-Late-Onset and Acute Progressive Multiple Transplant Renal Segmental Artery Stenoses: A Case Report.	Transplant Proc. 2021 May;53(4):1262-1267.	Case report
24	Fujimoto Tomotaka, Yamano T, Miyagawa-Hayashino A, et al.	循環器内科	Case With Transthyretin Amyloid Cardiomyopathy Complicated With Rapidly Progressive Aortic Stenosis Possibly Caused by Amyloid Deposition in the Aortic Valve.	Circ Cardiovasc Imaging. 2021 Nov;14(11):e013357.	Case report
25	Shikuma Akira, Kami D, Maeda R, et al.	循環器内科	Amelioration of Endotoxemia by a Synthetic Analog of Omega-3 Epoxyeicosanoids	Front Immunol. 2022 Feb 24;13:825171.	Original Article
26	Nishi Masahiro, Ogata T, Kobayakawa K, et al.	循環器内科	Energy-sparing by 2-methyl-2-thiazoline protects heart from ischaemia/reperfusion injury	ESC Heart Fail. 2022 Feb;9(1):428-441.	Original Article
27	Higuchi Yusuke, Ogata T, Nakanishi N,	循環器内科	Requirement of Cavin-2 for the expression and stability of IRβ in adequate adipocyte differentiation.	Mol Metab. 2022 Jan;55:101416.	Original Article
28	Tagigami Masao, Tsubata H, Nakanishi N, et al.	循環器内科	The effectiveness of scoring balloon angioplasty in the treatment of chronic thromboembolic pulmonary hypertension.	PLoS One. 2022 Feb 3;17(2):e0263244.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
29	Yashige Masaki, Zen K, Nakamura S, et al.	循環器内科	Incidence and predictors of transcatheter aortic valve replacement device embologenic matter detected by transesophageal echocardiography.	Int J Cardiovasc Imaging. 2022 Feb 24. (オンライン)	Case report
30	Kakei Yusuke, Kimura M, Nagashima T, et al.	循環器内科	Angiographic Change After Injection of Beperminogene Perplasmid, a Hepatocyte Growth Factor Gene Therapy Product for the Treatment of Critical Limb Ischemia	Circ Rep. 2021 Dec 16;4(2):105-106.	Case report
31	Kubota Hiroshi, Yamada H, Sugimoto T, et al.	循環器内科	Repeated Social Defeat Enhances CaCl <sub>2</sub> -Induced Abdominal Aortic Aneurysm Expansion by Inhibiting the Early Fibrotic Response via the MAPK-MKP-1 Pathway.	Cells. 2022 Feb 19;11(4):732.	Original Article
32	Shako Daiki, Kawasaki T, Yamano M, et al.	循環器内科	Isolated extreme right ventricular hypertrophy: A case report.	J Cardiol Cases. 2021 Nov 17;25(4):240-243.	Case report
33	Shoji Keisuke, Yanishi K, Kawamata H, et al.	循環器内科	New risk factors for early- and late-onset cardiac rupture in ST-elevation myocardial infarction patients after primary percutaneous coronary intervention.	J Cardiol. 2022 Mar;79(3):400-407.	Original Article
34	Senoo Keitaro, Miki T, Ohkura T, et al.	循環器内科	A Smartphone App to Improve Oral Anticoagulation Adherence in Patients With Atrial Fibrillation: Prospective Observational Study.	JMIR Mhealth Uhealth. 2022 Jan 7;10(1):e30807.	Original Article
35	Kawai Yoko, Nakamura T, Matoba S.	循環器内科	Intravascular ultrasonography-guided measurement and transcatheter closure of highly calcified patent ductus arteriosus in an older adult.	Cardiol Young. 2022 Jan;32(1):124-126.	Case report
36	Yanagiuchi Takashi, Kato T, Hirano K, et al.	循環器内科	Predictors of delayed wound healing after simultaneous endovascular treatment and minor forefoot amputation for chronic limb-threatening ischemia with wound infection	Vascular. 2022 Feb 1;17085381211067601.	Original Article
37	Sakamoto Akira, Yanishi K, Shoji K, et al.	循環器内科	Impact of Door-to-Balloon Time Reduction Depending on the Killip Classification in Patients with ST-Segment Elevation Myocardial Infarction Transported by Emergency Medical Services.	Int Heart J. 2022 Mar;63(2):226-234.	Original Article
38	Hara Masayuki, Kusaba T, Ono K, et al.	腎臓内科	Extraglomerular Vascular Involvement of Glomerulopathy with Fibronectin Deposits.	Intern Med. 2021 Jul 1;60(13):2103-2107.	Case report
39	Yamashita Noriyuki, Nakai K, Nakata T, et al.	腎臓内科	Cumulative DNA damage by repeated low-dose cisplatin injection promotes the transition of acute to chronic kidney injury in mice.	Sci Rep. 2021 Oct 22;11(1):20920.	Original Article
40	Kitani Takashi, Kidokoro K, Nakata T, et al.	腎臓内科	Kidney vascular congestion exacerbates acute kidney injury in mice	Kidney Int. 2022 Mar;101(3):551-562.	Original Article
41	Uehara-Watanabe Noriko, Okuno-Ozeki N, Minamida A, et al.	腎臓内科	Direct evidence of proximal tubular proliferation in early diabetic nephropathy	Sci Rep. 2022 Jan 17;12(1):778.	Original Article
42	Komaki Kazumi, Shiotsu Y, Adachi H, et al.	腎臓内科	Nephritis-associated plasmin receptor (NAPlr)-positive glomerulonephritis in a case of ANCA-negative small vessel vasculitis	CEN Case Rep. 2022 Feb;11(1):90-96.	Case report
43	Yoshimura Akihiro, Yamada T, Okuma Y	呼吸器内科	Impact of tumor programmed death ligand-1 expression on osimertinib efficacy in untreated EGFR-mutated advanced non-small cell lung cancer: a prospective observational study	Translational Lung Cancer Research. 2021 Aug;10(8):3582-3593.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
44	Masaki Ishida, K Morimoto, T Yamada, et al.	呼吸器内科	Impact of docetaxel plus ramucirumab in a second-line setting after chemoimmunotherapy in patients with non-small-cell lung cancer: A retrospective study.	Thoracic Cancer. 2022 Jan;13(2):173-181.	Original Article
45	Aosa Sasada, Tatsuya Y, Shinsuke S et al.	呼吸器内科	Non-small Cell Lung Cancer With Proto-Oncogene B-Raf V600E Presenting a Distinctive Clinical Course: A Case Report	Cureus. 2022 March (オンライン)	Case report
46	Sawada R, Matsui Y, Uchino J, et al.	呼吸器内科	Late-onset Pleural and Pericardial Effusion as Immune-related Adverse Events after 94 Cycles of Nivolumab: A Case Report.	Intern Med. 2021 Nov 15;60(22):3585-3588.	Case report
47	Tanimura K, Yamada T, Omura A, et al.	呼吸器内科	The Impact of VEGF Inhibition on Clinical Outcomes in Patients With Advanced Non-Small Cell Lung Cancer Treated With Immunotherapy: A Retrospective Cohort Study.	Front Oncol. 2021 May 28;11:663612.	Original Article
48	Morimoto K, Uchino J, Yokoi T, et al.	呼吸器内科	Impact of cancer cachexia on the therapeutic outcome of combined chemoimmunotherapy in patients with non-small cell lung cancer: a retrospective study.	Oncoimmunology. 2021 Jul 8;10(1):1950411.	Original Article
49	Morimoto K, Yamada T, Yokoi T, et al.	呼吸器内科	Clinical impact of pembrolizumab combined with chemotherapy in elderly patients with advanced non-small-cell lung cancer.	Lung Cancer. 2021 Nov;161:26-33.	Original Article
50	Tanimura K, Yamada T, Horinaka M, et al.	呼吸器内科	Inhibition of c-Jun N-terminal kinase signaling increased apoptosis and prevented the emergence of ALK-TKI-tolerant cells in ALK-rearranged non-small cell lung cancer.	Cancer Lett. 2021 Dec 1;522:119-128.	Original Article
51	Yoshimura A, Yamada T, Okuma Y, et al.	呼吸器内科	Impact of tumor programmed death ligand-1 expression on osimertinib efficacy in untreated EGFR-mutated advanced non-small cell lung cancer: a prospective observational study.	Transl Lung Cancer Res. 2021 Aug;10(8):3582-3593.	Original Article
52	Ishida M, Morimoto K, Yamada T, et al.	呼吸器内科	Impact of docetaxel plus ramucirumab in a second-line setting after chemoimmunotherapy in patients with non-small-cell lung cancer: A retrospective study	Thorac Cancer. 2022 Jan;13(2):173-181.	Original Article
53	Katayama Y, Yamada T, Tokuda S, et al.	呼吸器内科	Heterogeneity among tumors with acquired resistance to EGFR tyrosine kinase inhibitors harboring EGFR-T790M mutation in non-small cell lung cancer cells.	Cancer Med. 2022 Feb;11(4):944-955.	Original Article
54	Tanimura K, Yamada T, Okada K, et al.	呼吸器内科	HER3 activation contributes toward the emergence of ALK inhibitor-tolerant cells in ALK-rearranged lung cancer with mesenchymal features.	NPJ Precis Oncol. 2022 Jan 18;6(1):5.	Original Article
55	Tanaka S, Uchino J, Yokoi T, et al.	呼吸器内科	Prognostic Nutritional Index and Lung Immune Prognostic Index as Prognostic Predictors for Combination Therapies of Immune Checkpoint Inhibitors and Cytotoxic Anticancer Chemotherapy for Patients with Advanced Non-Small Cell Lung Cancer.	Diagnostics (Basel). 2022 Feb 6;12(2):423.	Original Article
56	Morimoto K, Junji U, Yokoi T, et al.	呼吸器内科	Impact of cancer cachexia on the therapeutic outcome of combined chemoimmunotherapy in patients with non-small cell lung cancer: a retrospective study.	Oncoimmunology vol. 10,1 1950411.2021 Jul 8/ Oncoimmunology 2021 Jul (オンライン)	Original Article
57	Morimoto K, Yamada T, Yokoi T, et al.	呼吸器内科	Clinical impact of pembrolizumab combined with chemotherapy in elderly patients with advanced non-small-cell lung cancer.	Lung cancer vol. 161: 26-33, 2021.Nov	Original Article
58	Hamaguchi Masahide, Hashimoto Y, Tanaka T, et al.	内分泌・糖尿病科・代謝内科	Multicenter, Open-Label, 2-Arm, Pilot Trial for Safe Reduction of Basal Insulin Dose Combined with SGLT2 Inhibitor in Type 1 Diabetes Mellitus: Study Protocol for a RISING-STAR Trial.	Clin Med Insights Endocrinol Diabetes. 2021 Sep 27;14:11795514211040539.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
59	Hamaguchi Masahide, Nojiri T, Okamura T, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Status of online diet management program users in Japan during the 2020 Coronavirus disease 2019 pandemic.	J Clin Biochem Nutr. 2021 Nov;69(3):305-310.	Original Article
60	Ichikawa Takahiro, Oyabu C, Minamida M, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Changes in the Size of a Ruptured Pheochromocytoma after Transcatheter Arterial Embolization	Case Rep Med. 2021 Apr 4;2021:5568978.	Original Article
61	Nakanishi Naoko, Hashimoto Y, Okamura T, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	A weight regain of 1.5kg or more and lack of exercise are associated with nonalcoholic fatty liver disease recurrence in men.	Sci Rep. 2021 Oct 7;11(1):19992.	Original Article
62	Tanaka Muhei, Okada H, Hashimoto Y, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Association of mean corpuscular volume with sarcopenia and visceral obesity in individuals without anemia	J Diabetes Investig. 2021 Jul;12(7):1287-1292.	Original Article
63	Yoshimura Yuta, Hamaguchi M, Hashimoto Y, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Obesity and metabolic abnormalities as risks of alcoholic fatty liver in men: NAGALA study	BMC Gastroenterol. 2021 Aug 9;21(1):321.	Original Article
64	Kondo Yuriko, Hashimoto Y, Hamaguchi M, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Unique Habitual Food Intakes in the Gut Microbiota Cluster Associated with Type 2 Diabetes Mellitus.	Nutrients. 2021 Oct 27;13(11):3816.	Original Article
65	Hashimoto Yoshitaka, Yasuzawa H, Ishida T, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	A survey on consciousness towards the proper use of metformin and medical cost in Japanese patients with type 2 diabetes	J Clin Biochem Nutr. 2021 Nov;69(3):286-293.	Original Article
66	Takahashi Fuyuko, Hashimoto Y, Kaji A, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Association of Estimated Salt and Miso Intake with the Prevalence of Obesity in People with Type 2 Diabetes: A Cross-Sectional Study.	Nutrients. 2021 Aug 28;13(9):3014.	Original Article
67	Takahashi Fuyuko, Hashimoto Y, Kaji A, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Association between Geriatric Nutrition Risk Index and The Presence of Sarcopenia in People with Type 2 Diabetes Mellitus: A Cross-Sectional Study.	Nutrients. 2021 Oct 22;13(11):3729.	Original Article
68	Takahashi Fuyuko, Hashimoto Y, Kaji A, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Vitamin Intake and Loss of Muscle Mass in Older People with Type 2 Diabetes: A Prospective Study of the KAMOGAWA-DM Cohort.	Nutrients. 2021 Jul 8;13(7):2335.	Original Article
69	Takahashi Fuyuko, Hashimoto Y, Kaji A, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	abitual Miso (Fermented Soybean Paste) Consumption Is Associated with Glycemic Variability in Patients with Type 2 Diabetes: A Cross-Sectional Study.	Nutrients. 2021 Apr 28;13(5):1488..	Original Article
70	Takahashi Fuyuko, Hashimoto Y, Kaji A, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Sarcopenia Is Associated With a Risk of Mortality in People With Type 2 Diabetes Mellitus. Front. Endocrinol.	Front Endocrinol (Lausanne). 2021 Nov 11;12:783363.	Original Article
71	Takahashi Fuyuko, Hashimoto Y, Kaji A, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Sarcopenic obesity is associated with macroalbuminuria in patients with type 2 diabetes: a cross-sectional study.	Endocr J. 2021 Jul 28;68(7):781-789.	Original Article
72	Kawano Reina, Takahashi F, Hashimoto Y, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Short energy intake is associated with muscle mass loss in older patients with type 2 diabetes: A prospective study of the KAMOGAWA-DM cohort.	Clin Nutr. 2021 Apr;40(4):1613-1620.	Original Article
73	Hashimoto Yoshitaka, Hamaguchi M, Fukui M, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Microbe-associated metabolites as targets for incident type 2 diabetes.	J Diabetes Investig. 2021 Apr;12(4):476-478.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
74	Okamura Takuro, Okada H, Hashimoto Y, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Let-7e-5p regulates IGF2BP2, and induces muscle atrophy.	Front Endocrinol (Lausanne). 2021 Dec 24;12:791363.	Original Article
75	Bamba Ryo, Okamura T, Hashimoto Y, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Extracellular lipidome change by an SGLT2 inhibitor, luseogliflozin, contributes to prevent skeletal muscle atrophy in db/db mice	J Cachexia Sarcopenia Muscle. 2022 Feb; 13(1):574-588. doi: 10.1002/jcsm.12814.	Original Article
76	Okamura Takuro, Hashimoto Y, Majima S, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Trans fatty acid intake induces intestinal inflammation and impaired glucose tolerance.	Front Immunol. 2021 Apr 29;12:669672.	Original Article
77	Okamura Takuro, Hashimoto Y, Hamaguchi M, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Clinical characteristics and longitudinal changes of patients with non-alcoholic fatty liver disease in 2 decades: the NAGALA study.	BMC Gastroenterol. 2021 May 17;21(1):223.	Original Article
78	Okamura Takuro, Hashimoto Y, Mori J, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	ILC2s improve glucose metabolism through the control of saturated fatty acid absorption within visceral fat.	Front Immunol. 2021 Jul 9;12:669629.	Original Article
79	Kawano Reina, Okamura T, Hashimoto Y, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Erythritol Ameliorates Small Intestinal Inflammation Induced by High-Fat Diets and Improves Glucose Tolerance.	Int J Mol Sci. 2021 May 24;22(11):5558.	Original Article
80	Kitae Aya, Ushigome E, Hashimoto Y, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Asymptomatic postprandial hypotension in patients with diabetes: The KAMOGAWA-HBP study.	J Diabetes Investig. 2021 May;12(5):837-844.	Original Article
81	Nakajima Hanako, Hashimoto Y, Kaji A, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Impact of extracellular-to-intracellular fluid volume ratio on albuminuria in patients with type 2 diabetes: A cross-sectional and longitudinal cohort study.	J Diabetes Investig. 2021 Jul;12(7):1202-1211.	Original Article
82	Hasegawa Yuka, Takahashi F, Hashimoto Y, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Effect of COVID-19 Pandemic on the Change in Skeletal Muscle Mass in Older Patients with Type 2 Diabetes: A Retrospective Cohort Study.	Int J Environ Res Public Health. 2021 Apr 15;18(8):4188.	Original Article
83	Saijo Yuto, Okada H, Hamaguchi M, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Association between the frequency of toothbrushing and lifestyle in people with type 2 diabetes mellitus: at the baseline date of the Kamogawa-DM cohort study.	J Clin Biochem Nutr. 2021 Nov;69(3):294-298.	Original Article
84	Tanaka Muhei, Okada H, Hashimoto Y, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Distinct associations of intraperitoneal and retroperitoneal visceral adipose tissues with metabolic syndrome and its components	Clin Nutr. 2021 May;40(5):3479-3484.	Original Article
85	Kimura Tomonori, Ushigome E, Hashimoto Y, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Home-Measured Blood Pressure Is Associated with Handgrip Strength in Patients with Type 2 Diabetes: The KAMOGAWA-HBP Study	J Clin Med. 2021 Apr 28;10(9):1913.	Original Article
86	Okada Hiroshi, Hamaguchi M, Habu M, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Association between variability in body mass index and development of type 2 diabetes: Panasonic cohort study	BMJ Open Diabetes Res Care. 2021 Apr;9(1):e002123.	Original Article
87	Okamura Takuro, Nakajima H, Hashimoto Y, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Low circulating dihomo-gamma-linolenic acid is associated with diabetic retinopathy: a cross sectional study of KAMOGAWA-DM cohort study	Endocr J. 2021 Apr 28;68(4):421-428.	Original Article
88	Kitae Aya, Kimura T, Munekawa C, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Development of application to automatically calculate mean amplitude of glycaemic excursions using intermittently scanned continuous glucose monitoring data	Diabetes Obes Metab. 2021 Sep;23(9):2155-2160.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
89	Takewaki Fumie, Nakajima H, Takewaki D, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Habitual Dietary Intake Affects the Altered Pattern of Gut Microbiome by Acarbose in Patients with Type 2 Diabetes	Nutrients. 2021 Jun 19;13(6):2107.	Original Article
90	Miyoshi Tomoki, Hamaguchi M, Kitagawa N, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Correlation between Liver Stiffness by Two-Dimensional Shear Wave Elastography and Waist Circumference in Japanese Local Citizens with Abdominal Obesity	J Clin Med. 2021 May 4;10(9):1971.	Original Article
91	Ichikawa Takahiro, Kitae A, Takeda S, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Transition of blood glucose level in a patient with pregnancy-associated fulminant type 1 diabetes mellitus	J Diabetes Investig. 2021 May;12(5):894-896.	Original Article
92	Mineoka Yusuke, Ishii M, Hashimoto Y, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Trigger finger is associated with risk of incident cardiovascular disease in individuals with type 2 diabetes: a retrospective cohort study	BMJ Open Diabetes Res Care. 2021 Apr;9(1):e002070.	Original Article
93	Kitagawa Nobuko, Kitagawa N, Ushigome E, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Impact of Isolated High Home Systolic Blood Pressure and Diabetic Nephropathy in Patients with Type 2 Diabetes Mellitus: A 5-Year Prospective Cohort Study	J Clin Med. 2021 Apr 29;10(9):1929.	Original Article
94	Okamura Takuro, Hamaguchi M, Mori J, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Partially Hydrolyzed Guar Gum Suppresses the Development of Sarcopenic Obesity	Nutrients. 2022 Mar 9;14(6):1157.	Original Article
95	Ushigome Emi, Hamaguchi M, Sudo K, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Impact of untreated diabetes and COVID-19-related diabetes on severe COVID-19	Heliyon. 2022 Jan;8(1):e08801.	Original Article
96	Saijo Yuto, Okada H, Hamaguchi M, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	The Risk Factors for Development of Type 2 Diabetes: Panasonic Cohort Study 4	Int J Environ Res Public Health. 2022 Jan 5;19(1):571.	Original Article
97	Hashimoto Y, Hamaguchi M, Okamura T, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Metabolic associated fatty liver disease is a risk factor for chronic kidney disease	J Diabetes Investig. 2022 Feb;13(2):308-316.	Original Article
98	Iwai Keiko, Ushigome E, Okada K, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Usefulness of Aerobic Exercise for Home Blood Pressure Control in Patients with Diabetes: Randomized Crossover Trial	J Clin Med. 2022 Jan 27;11(3):650.	Original Article
99	Hashimoto Yoshitaka, Takahashi F, Kaji A, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Eating Speed Is Associated with the Presence of Sarcopenia in Older Patients with Type 2 Diabetes: A Cross-Sectional Study of the KAMOGAWA-DM Cohort	Nutrients. 2022 Feb 11;14(4):759.	Original Article
100	Mineoka Yusuke, Ishii M, Hashimoto Y, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Nutritional Status Assessed with Objective Data Assessment Correlates with a High-Risk Foot in Patients with Type 2 Diabetes	J Clin Med. 2022 Feb 27;11(5):1314.	Original Article
101	Mastui Takaaki, Hashimoto Y, Okamura T, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Relationship between eosinophils counts and muscle mass decline in older people with type 2 diabetes: A prospective study of the KAMOGAWA-DM cohort	Exp Gerontol. 2022 Mar;159:111671.	Original Article
102	Munekawa Chihiro, Okada H, Hamaguchi M, et al.	内分泌・糖尿病・代謝内科	Fasting plasma glucose level in the range of 90-99 mg/dL and the risk of the onset of type 2 diabetes: Population-based Panasonic cohort study 2	J Diabetes Investig. 2022 Mar;13(3):453-459.	Original Article
103	Okamoto H, Uoshima N, Kamitsuji Y, et al.	血液内科	Paroxysmal Nocturnal Hemoglobinuria Complicated with Essential Thrombocythemia Harboring Concomitant PIGA, CALR, And ASXL1 Mutations.	Ann Hematol 2021.Aug;100: 2113-2115	Case report

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
104	Okamoto H, Kamitsuji Y, Komori Y, et al.	血液内科	Durable remission of chemotherapy- refractory myeloid sarcoma by azacitidine.	Tohoku J Exp Med 2021.Jun, 254; 101-105	Case report
105	Katsuragawa- Taminishi Y, Ide D, Maegawa- Matsui S, et al.	血液内科	Acquired Amegakaryocytic Thrombocytopenic Purpura that Presented as Cyclic Thrombocytopenia Associated with Anti-Phospholipid Antibody Syndrome.	Clin Hematol Res 2021.Apr, 4: 42-46	Case report
106	Nagata H, Kuriyama K, Nishikawa R, et al.	血液内科	Iguratimod triggers the relapse of methotrexate-associated lymphoproliferative disorder.	Ann Hematol 2021.Nov, 100: 2849-2850	Case report
107	Okamoto H, Uoshima N, Muramatsu A, et al.	血液内科	Combination of bone marrow biopsy and flow cytometric analysis: The prognostically relevant central approach for detecting bone marrow invasion in diffuse large B-cell lymphoma.	Diagnostics 2021.Sep, 11: 1724	Original Article
108	Isa R, Horinaka M, Tsukamoto T, et al.	血液内科	The rationale for the dual targeting therapy for RSK2 and AKT in multiple myeloma.	Int J Mol Sci, 2022.Mar, 23, 2919	Original Article
109	Tsukamoto T, Tokuda Y, Nakano M, et al.	血液内科	Expression of activated B cell gene signature is predictive of the outcome of follicular lymphoma.	Blood Adv,2022.Mar, 6, 1932-1936	Letter
110	Kawaji- Kanayama Y, Muramatsu A, Sasaki N, et al.	血液内科	Clinical impacts of frailty, poor performance status, and advanced age in carfilzomib- containing treatment for relapsed/refractory multiple myeloma: post hoc investigation of the KOTOSG multicenter pilot prospective observational study.	Int J Hematol, 2022.Mar, 115, 350-362	Original Article
111	Kitaoji Takamasa, Tsuji Y, Noto YI, et al.	脳神経内科	Sonographic Nerve Enlargement in a Patient with Sarcoidosis.	Intern Med. 2021 May 1;60(9):1469-1473.	Case report
112	Kojima Yuta, Shibuya K, Uzawa A, et al.	脳神経内科	Dispersion of mean consecutive differences in single-fiber electromyography increases diagnostic sensitivity for myasthenia gravis.	Muscle Nerve. 2021 Jun;63(6):885-889.	Original Article
113	Ishii Ryotaro, Schwedt TJ, Dumkrieger G, et al.	脳神経内科	Chronic versus episodic migraine: The 15-day threshold does not adequately reflect substantial differences in disability across the full spectrum of headache frequency.	Headache. 2021 Jul;61(7):992-1003.	Original Article
114	Nishii Yo- Suke, Noto YI, Yasuda R, et al.	脳神経内科	A Japanese case of oculopharyngeal muscular dystrophy (OPMD) with PABPN1 c.35G>C; p.Gly12Ala point mutation.	BMC Neurol. 2021 Jul 5;21(1):265.	Case report
115	Ishii Ryotaro, Schwedt TJ, Trivedi M, et al.	脳神経内科	Mild traumatic brain injury affects the features of migraine.	J Headache Pain. 2021 Jul 22;22(1):80.	Original Article
116	Kojima Yuta, Uzawa A, Ozawa Y, et al.	脳神経内科	Rate of change in acetylcholine receptor antibody levels predicts myasthenia gravis outcome.	J Neurol Neurosurg Psychiatry. 2021 Sep;92(9):963-968	Original Article
117	Kitani-Morii Fukiko, Friedland RP, Yoshida H, et al.	脳神経内科	Drosophila as a Model for Microbiota Studies of Neurodegeneration.	J Alzheimers Dis. 2021 Sep;84(2):479-490.	Review
118	Kitaoji Takamasa, Noto YI, Kojima Y, et al.	脳神経内科	Quantitative assessment of muscle echogenicity in Charcot-Marie-Tooth disease type 1A by automatic thresholding methods.	Clin Neurophysiol. 2021 Oct;132(10):2693-2701.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
119	Ashida Shinji, Ochi H, Hamatani M, et al.	脳神経内科	Radiological and Laboratory Features of Multiple Sclerosis Patients With Immunosuppressive Therapy: A Multicenter Retrospective Study in Japan.	Front Neurol. 2021 Oct 13;12:749406.	Original Article
120	Fujino Yuzo, Kasai T, Kitani-Morii F, et al.	脳神経内科	Impaired age-dependent increases in phosphoglycerate kinase activity in red blood cells of Parkinson's disease patients.	Parkinsonism Relat Disord. 2021 Oct;91:128-134.	Original Article
121	Kojima Yuta, Kasai T, Noto YI, et al.	脳神経内科	Amyotrophic lateral sclerosis: Correlations between fluid biomarkers of NfL, TDP-43, and tau, and clinical characteristics.	PLoS One. 2021 Nov 29;16(11):e0260323.	Original Article
122	Maezono- Kandori Keiko, Ohara T, Fujinami J, et al.	脳神経内科	Elevated CA125 is Related to Stroke Due to Cancer- Associated Hypercoagulation.	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2021 Dec;30(12):106126.	Original Article
123	Mitsuda Masato, Shiozaki A, Kudou M et al.	消化器外科	Functional Analysis and Clinical Significance of Chloride Channel 2 Expression in Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Annals of Surgical Oncology. 28(9):5384-5397, Sep, 2021.	Original Article
124	Shiozaki Atsushi, Katsurahara K, Kudou M et al.	消化器外科	Amlodipine and Verapamil, Voltage-Gated Ca <sup>2+</sup> Channel Inhibitors, Suppressed the Growth of Gastric Cancer Stem Cells.	Annals of Surgical Oncology. 28(9):5400-5411, Sep, 2021.	Original Article
125	Takao Kouji, Konishi H, Matsubara D et al.	消化器外科	MiR-3663-3p Inhibits the progression of gastric cancer through the CCND1 pathway.	Anticancer Reserch. 41(5):2441-2449, May, 2021.	Original Article
126	Shibamoto Jun, Fujiwara H, Konishi H et al.	消化器外科	Evaluation of subcarinal lymph node dissection and metastasis in transmediastinal radical esophagectomy.	Esophagus. 18(3):461-467, Jul, 2021.	Original Article
127	Matsumoto Yoshihisa, Shiozaki A, Kosuga T et al.	消化器外科	Expression and Role of CFTR in Human Esophageal Squamous Cell Carcinoma.	Annals of Surgical Oncology. 28(11):6424-6436, Oct, 2021.	Original Article
128	Kurashima K, Shiozaki A, Kudou M et al.	消化器外科	LRRC8A influences the growth of gastric cancer cells via the p53 signaling pathway.	Gastric Cancer. 24(5):1063-1075, Sep, 2021.	Original Article
129	Kubo Hidemasa, Murayama Y, Ogawa S et al.	消化器外科	$\beta$ -Galactosidase is a target enzyme for detecting peritoneal metastasis of gastric cancer.	Science Report. 11(1):10664, May 21, 2021	Original Article
130	Inoue Hiroyuki, Arita T, Kuriu Y et al.	消化器外科	Emergency Management of Obstructive Colorectal Cancer - A Retrospective Study of Efficacy and Safety in Self-expanding Metallic Stents and Trans-anal Tubes .	In Vivo. 35(4):2289-2296, Jul-Aug, 2021.	Original Article
131	Kubo Hidemasa, Ikoma H, Yamamoto Y et al.	消化器外科	Therapeutic Strategy of Colorectal Liver Metastasis Using Modified-JHBPS Nomogram.	Anticancer Research. 41(7):3657-3665, Jul, 2021.	Original Article
132	Nakamura Kei, Shiozaki A, Kosuga T et al.	消化器外科	The expression of the alpha1 subunit of Na <sup>+</sup> /K <sup>+</sup> -ATPase is related to tumor development and clinical outcomes in gastric cancer.	Gastric Cancer. 24(6):1278-1292, Nov 2021.	Original Article
133	Ogawa Shoichiro, Kubo H, Murayama Y et al.	消化器外科	Matrix metalloprotease-14 is a target enzyme for detecting peritoneal metastasis in gastric cancer.	Photodiagnosis Photodynamic Therapy. 35:102420, Sep, 2021.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
134	Ogawa Shoichiro, Kubo H, Murayama Y et al.	消化器外科	Rapid fluorescence imaging of human hepatocellular carcinoma using the $\beta$ -galactosidase-activatable fluorescence probe SPiDER- $\beta$ Gal.	Science Report. 11(1):17946, Sep 9, 2021.	Original Article
135	Komatsu Shuhei, Imamura T, Kiuchi J et al.	消化器外科	Depletion of tumor suppressor miRNA-148a in plasma relates to tumor progression and poor outcomes in gastric cancer.	American Journal of Cancer Research. 11(12):6133-6146, Dec 15, 2021.	Original Article
136	Nanishi Kenji, Konishi H, Shiozaki A et al.	消化器外科	Reduction of perioperative venous thrombus formation by antithrombotic peripherally inserted central catheter in esophageal cancer.	Langenbecks Archives of Surgery. 407(3):1009-1016, May, 2021.	Original Article
137	Takabatake Kazuya, Konishi H, Arita T et al.	消化器外科	Anterior gradient 2 regulates cancer progression in TP53-wild-type esophageal squamous cell carcinoma.	Oncology Report. 46(6):260, Dec, 2021.	Original Article
138	Ogawa Shoichiro, Kubo H, Murayama Y et al.	消化器外科	Rapid fluorescence imaging of human hepatocellular carcinoma using the $\beta$ -galactosidase-activatable fluorescence probe SPiDER- $\beta$ Gal.	Science Report. 11(1):17946, Sep 9, 2021.	Original Article
139	Takaki Wataru, Konishi H, Shoda K et al.	消化器外科	Significance of Circular FAT1 as a Prognostic Factor and Tumor Suppressor for Esophageal Squamous Cell Carcinoma	Annals of Surgical Oncology. 28(13):8508-8518, Dec, 2021.	Original Article
140	Kato Shunji, Shiozaki A, Kudou M et al.	消化器外科	TRPV2 Promotes Cell Migration and Invasion in Gastric Cancer via the Transforming Growth Factor- $\beta$ Signaling Pathway.	Annals of Surgical Oncology. 29(5):2944-2956, May, 2021.	Original Article
141	Maeda Tomohito, Konishi H, Takaki W et al.	消化器外科	Significance of Plasma UCA1 for Predicting Colorectal Cancer and BRAF Mutation Status.	Anticancer Research. 41(4):1761-1769, Apr, 2021.	Original Article
142	Shiozaki Atsushi, Konishi T, Kosuga T et al.	消化器外科	Roles of voltage-gated potassium channels in the maintenance of pancreatic cancer stem cells.	International Journal of Oncology. 59(4):76, Oct, 2021.	Original Article
143	Ikemoto K, Hashimoto K, Harada Y, et al	心臓血管外科	Raman Spectroscopic Assessment of Myocardial Viability in Langendorff-Perfused Ischemic Rat Hearts	Acta Histochem Cytochem . 2021 Apr 28;54(2):65-72.	Original Article
144	Inoue T, Kanda K, Yamanami M, et al	心臓血管外科	Effects of Short-Duration Ethanol Dehydration on Mechanical Properties of Porcine Pericardium	Ann Thorac Cardiovasc Surg . 2021 Jun 20;27(3):169-175.	Original Article
145	Hohri Y, Numata S, Itatani K, et al	心臓血管外科	Prediction for future occurrence of type A aortic dissection using computational fluid dynamics	Eur J Cardiothorac Surg . 2021 Jul 30;60(2):384-391.	Original Article
146	Numata S, Yaku H	心臓血管外科	[Valve Surgery after Coronary Artery Bypass Grafting]	Kyobu Geka . 2021 Sep;74(10):746-751	Original Article
147	Hohri Y, Kawajiri H, Zen K, et al	心臓血管外科	External iliac artery access for transcatheter aortic valve replacement.	Cardiovasc Interv Ther. 2022 Feb 21.	Case report
148	Hongu H	小児心臓血管外科	Comparison of half-turned truncal switch and conventional operations	Interact Cardiovasc Thorac Surg. 2021 Jun 28;33(1):101-109	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
149	Hongu H	小児心臓血管外科	Alternative pulmonary artery reconstruction technique in the arterial switch operation	Eur J Cardiothorac Surg.2021 Jul 14;60(1):98-104	Original Article
150	Nakatsuji H	小児心臓血管外科	Midterm results of pulmonary artery plasty with in vivo tissue-engineered vascular grafts	Interact Cardiovasc Thorac Surg.2021 May 27;32(6):956-959	Original Article
151	Asada S	小児心臓血管外科	Chimney reconstruction provides a wider subaortic space and reduces the risk of pulmonary artery compression in the Norwood-type aortic arch reconstruction without patch supplementation	Eur J Cardiothorac Surg.2021 Dec 1;60(6):1408-1416	Original Article
152	Chiaki Nakazono	呼吸器外科	External Corset Technique in a Patient With Anomalous Artery Supply to the Left Basal Segment.	Ann Thorac Surg, 2021 Jun.	Case report
153	Masanori Shimomura	呼吸器外科	Life-threatening extrapleural hematoma in an anticoagulated patient 2weeks after lobectomy.	Thoracic cancer, 2021 Aug.	Case report
154	Kenji Kameyama	呼吸器外科	Extrathoracic Superior Vena Cava Bypass With Venous Return Cannulas in Malignant Mediastinal Tumor Surgery.	Ann Thorac Surg, 2021 Aug.	Case report
155	Nakamura Tsukasa	移植一般外科	The Abundance of Antigalactose-deficient IgA1 Autoantibodies Results in Glomerular Deposition and IgA Nephropathy Recurrence After Renal Transplantation	Transplantation. 2021 Dec 1;105(12):e407-e408	Original Article
156	Nakamura Tsukasa	移植一般外科	Hand-Assisted Laparoscopic Subtotal Colectomy for Ogilvie Syndrome Associated With Idiopathic Fibrosis of Colon After Simultaneous Pancreas Kidney Transplant.	Exp Clin Transplant. 2021 Dec;19(12):1348-1351	Case report
157	Nakamura Tsukasa	移植一般外科	Single vs Multiple Arterial Reconstructions in Living Donor Liver Transplant	Transplant Proc. 2022 Mar;54(2):399-402.	Original Article
158	Toshiaki Numajiri	形成外科	Extension toward the Trapezius in a Transversely Oriented Latissimus Dorsi Flap for Breast Reconstruction.	Plast Reconstr Surg Glob Open 9: e3695, 2021 Jul.	Original Article
159	Yoshihiro Sowa	形成外科	The influence of venous system patterns on DIEP flap viability for breast reconstruction.	J Plast Surg Hand Surg. 26:1-7,2021 Dec.	Original Article
160	Fujiwara G, Okada Y, Ishii W, et al.	脳神経外科	Association of skull fracture with in-hospital mortality in severe traumatic brain injury patients. Am J Emerg Med. 2021 Mar 11.	Am J Emerg Med. 2021 Aug;46:78-83.	Original Article
161	Tanigawa S, Fujita M, Moyama C, et al.	脳神経外科	Inhibition of Gli2 suppresses tumorigenicity in glioblastoma stem cells derived from a de novo murine brain cancer model	Cancer Gene Ther . 2021 Dec;28(12):1339-1352	Original Article
162	Okubo Naoki, Horii M, Ikoma K et,al.	整形外科	Urban versus rural differences of hip fractures among the elderly in Kyoto, Japan: a 10-year study	Archves of Osteoporosis 2021Oct;16(1):160	Original Article
163	Sawai Seiji, Kishida T, Kotani S et,al.	整形外科	ALK5 i II accelerates induction of adipose-derived stem cells toward Schwann cells through a non-Smad signaling pathway	Stem Cells International 2021Oct;2021:8307797	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
164	Shimomura Seiji, Inoue H, Arai Y, et al.	整形外科	Mechanical stimulation of chondrocytes regulates HIF-1 $\alpha$ under hypoxic conditions.	Tissue and Cell 2021 Aug; 71: 101574	Original Article
165	Takatsuji Kenta, Kida Y, Furukawa R, et al.	整形外科	Osteoochondritis dissecans of the glenoid in adolescent baseball players: a report of 4 cases	JSES Reviews, Reports and Techniques 2021Aug;1(3):265-273	Case report
166	Kamada Yoichiro, Toyama S, Arai Y, et al.	整形外科	Treadmill running prevents atrophy differently in fast- versus slow-twitch muscles in a rat model of rheumatoid arthritis	Journal of Muscle Research and Cell Motility 2021 Dec ;42:429-441	Original Article
167	Kaihara Kenta, Nakagawa S, Arai Y, et al.	整形外科	Sustained hypoxia suppresses joint destruction in a rat model of rheumatoid arthritis via negative feedback of hypoxia Inducible factor-1 $\alpha$	International Journal of Molecular Science 2021Apr; 22(8);3898	Original Article
168	Itsuji Tomonori, Tonomura H, Ishibashi H, et al.	整形外科	Hepatocyte growth factor regulates HIF- 1 $\alpha$ -induced nucleus pulposus cell proliferation through MAPK-, PI3K/Akt- , and STAT3-mediated signaling.	Journal of Orthopaedic Research 2021 Jun;39(6):1184-1191	Original Article
169	Kobayashi Yusuke, Kida Y, Kabuto Y, et al.	整形外科	Healing Effect of Subcutaneous Administration of Granulocyte Colony- Stimulating Factor on Acute Rotator Cuff Injury in a Rat Model	Tissue Engineering Part A 2021 Sep; 27(17- 18):1205-1212	Original Article
170	Tarumi Y, Mori T, Okimura H et al.	産婦人科	Interleukin-9 produced by helper T cells stimulates interleukin-8 expression in endometriosis.	Am J Reprod Immunol 2021 Sep 86(3): e13380	Original Article
171	Sugahara T, Tanaka Y, Hamagushi M et al.	産婦人科	Reduced innate lymphoid cells in the endometrium of women with endometriosis.	Am J Reprod Immunol 2022 Jan 87(1): e13502	Original Article
172	Waratani M, Ito F, Tanaka Y	産婦人科	Severe coronavirus disease pneumonia in a pregnant woman at 25 weeks' gestation: A case report	J Obstet Gynaecol Res 2021 Apr 47 (4): 1583- 1588	Case report
173	Nishi A, Muramatsu A, Maeda E et al.	産婦人科	Successful management of acquired hemophilia A onset during pregnancy: A case report	J Obstet Gynaecol Res 2021 Nov 47(11):4060- 4066	Case report
174	Kokabu T, Masui K, Tarumi Y,	産婦人科	3D-Image-Guided Multi-Catheter Interstitial Brachytherapy for Bulky and High-Risk Stage IIB-IVB Cervical Cancer	Cancers (Basel) 2022 Feb 14(5): 1257	Original Article
175	Ouchi Kazutaka, Tsuchiya K, Ihara T, et al.	小児科	Lethal prognosis of an infant with intraabdominal large venous malformation.	Journal of Vascular Surgery Cases and Innovative Techniques. , 2021 May 5;7(3):512-515.	Case report
176	Kanayama Tkuyo, Miyachi M, Sugimoto Y, et al.	小児科	Reduced B7-H3 expression by PAX3- FOXO1 knockdown inhibits cellular motility and promotes myogenic differentiation in alveolar rhabdomyosarcoma.	Scientific Reports. 2021 Sep 22;11(1):18802.	Original Article
177	Miyagaki Satoshi, Kikuchi K, Mori J et al.	小児科	Inhibition of lipid metabolism exerts antitumor effects on rhabdomyosarcoma.	Cancer Medicine. 2021 Sep ;10(18):6442-6455.	Original Article
178	Suematsu Masaya, Yagy S, Hosoi H, et al.	小児科	Infantile mediastinal neuroblastoma presenting as an oncologic emergency: usefulness of serum-based MYCN gene amplification analysis for risk stratification.	BMJ Case Reports. 2021 Dec 31; 14(12): e246889	Case report

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
179	Tomida Aimasa, Yagyu S, Nakamura K, et al.	小児科	Inhibition of MEK pathway enhances the antitumor efficacy of chimeric antigen receptor T cells against neuroblastoma.	Cancer Science. 2021 Oct;112(10):4026-4036	Original Article
180	Sakaue Satoshi, Hasegawa T, Sakai K, et al.	小児科	Low-grade IVH in preterm infants causes cerebellar damage, motor, and cognitive impairment.	Pediatrics International. 2021 Nov 63(11): 1327-1333.	Original Article
181	Tomii Toshihiro, Imamura T, Tanaka K, et al.	小児科	Leukemic cells expressing NCOR1-LYN are sensitive to dasatinib in vivo in a patient-derived xenograft mouse model	Leukemia. 2021 Jul; 35(7): 2092-2096.	Original Article
182	Ichise Eisuke, Chiyonobu T, Ishikawa M,et al.	小児科	Impaired neuronal activity and differential gene expression in STXBP1 encephalopathy patient iPSC-derived GABAergic neurons.	Human Molecular Genetics. 2021 Jun 26;30(14): 1337-1348.	Original Article
183	Yagyu Shigeki, Mochizuki H, Yamashima K, et al.	小児科	A lymphodepleted non-human primate model for the assessment of acute on-target and off-tumor toxicity of human chimeric antigen receptor-T cells.	Clinical and Translational Immunology. 2021 Jun 3;10(6):e1291.	Original Article
184	Nakamura Kayoko, Yagyu S, Hirota S, et al.	小児科	Autologous antigen-presenting cells efficiently expand piggyBac transposon CAR-T cells with predominant memory phenotype	Molecular Therapy. Methods and Clinical Development. 2021 Jun 11;21:315-324.	Original Article
185	Asada Dai, Kawai Y, Maeda Y, et al.	小児科	Improvement in right ventricular function by mitral valve closure in hypoplastic left heart syndrome.	Interactive Cardiovascular and Thoracic Surgery. 2021 Jun 28; 33(1):153-154.	Case report
186	Kawai Youko, Nakamura T, Matoba S.	小児科	Intravascular ultrasonography-guided measurement and transcatheter closure of highly calcified patent ductus arteriosus in an older adult.	Cardiol in Young.2022 Jan;32(1):124-126.	Case report
187	Zuiki Masashi, Kume R, Matsuura A, et al.	小児科	Large difference between Enghoff and Bohr dead space in ventilated infants with hypoxemic respiratory failure.	Pediatric Pulmonology. 2021 Jul;56(7): 2102-2107.	Original Article
188	Nakajima Hisakazu, Fukuhara S	小児科	Two Japanese siblings with arginase-1 deficiency identified using a novel frameshift mutation of ARG1 (p.Lys41Thrfs*2) .	Journal of Pediatric Endocrinology and Metabolism. 2021 Oct 18;35(1):125-129.	Case report
189	Masakazu Takemoto, Higashi M, Fumino S, et al.	小児外科	The synergistic antitumor effect of combination therapy with a MEK inhibitor and YAP inhibitor on pERK-positive neuroblastoma	Biochemical and Biophysical Research Communications, 570: 41-46, Sep 2021.	Original Article
190	Deguchi Hideto, Kitazawa K, Deinhardt- Emmer S, et al.	眼科	he relationship between nasal and conjunctival cultures of antimicrobial-resistant isolates of methicillin-resistant Staphylococcus aureus	The Ocul Surface. 23: 24-26, 2022.Jan	Original Article
191	Aoki Takanori, Yokoi N, Nagata K, et al.	眼科	Investigation of the relationship between ocular sarcoidosis and dry eye.	Scientific Reports. 12 (1): 3469, 2022.Mar	Original Article
192	Shinkai Yoichiro, Yoneda K, Sotozono C.	眼科	Ex vivo Comparison of Intraocular Pressure Fluctuation during Pars Plana Vitrectomy Performed Using 25- and 27-Gauge Systems.	Ophthalmic Research. 65(2):210-215, 2022.Feb	Original Article
193	Tamagawa- Mineoka Risa, Maruyama Ayano, Ioka Natsue	皮膚科	Allergic contact dermatitis due to didecyltrimethylammonium chloride included in a swimsuit.	Journal of Dermatology 48(11); e532-e533, November 2021	Letter

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
194	Maruyama Ayano, Yokoi Yuki, Katoh Norito	皮膚科	Cutaneous lupus erythematosus arising from conjunctivitis.	Journal of Dermatology 48(7); e318-e319, July 2021	Letter
195	Maruyama Ayano, Ohshita Akifumi, Katoh Norito	皮膚科	Severe skin ulcer in systemic scleroderma due to severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 infection.	Journal of Dermatology 48(7); e343-e344, July 2021	Letter
196	Ushida Manaka, Arita Takahiro, Matsui Mari	皮膚科	Case of epidermodysplasia verruciformis with a novel mutation of TMC8.	Journal of Dermatology 48(11); e568-e569, November 2021	Letter
197	Onishi Yuri, Maruyama Ayano, Kosaka Kenichiro	皮膚科	Extensive gas gangrene secondary to an infected epidermal cyst on the back.	The Australasian Journal of Dermatology 62(3); e440-e442, August 2021	Case report
198	Onishi Yuri, Arakawa Yukiyasu, Tamagawa-Mineoka Risa	皮膚科	Occurrence of palmoplantar pustulosis during atezolizumab therapy for non-small cell lung cancer.	Journal of Dermatology 48(11); e570-e571, November 2021	Case report
199	Asai Jun	皮膚科	The role of podoplanin in skin disease.	international Journal of Molecular Sciences 23(3); 1310, January 2022.	Review
200	Takashi Ueda	泌尿器科	Abiraterone acetate versus bicalutamide in combination with gonadotropin releasing hormone antagonist therapy for high risk metastatic hormone sensitive prostate cancer	Scientific Reports .2021 May ;11(1)	Original Article
201	Toru Matsugasumi	泌尿器科	Challenge and Outcome for the Prostate Squamous Cell Carcinoma Which Developed 8 Years after Low-Dose-Rate Brachytherapy Approached by a Combined Multimodal Treatment with High-Dose-Rate Interstitial Brachytherapy, External Beam Radiation Therapy, and Chemotherapy	Case Reports in Oncology. 2021 Jun; 14(2):854-860	Case report
202	Teruki Shimizu	泌尿器科	Double renal cell carcinoma with histological type of clear cell carcinoma and papillary carcinoma in the same kidney concurrently treated with robot-assisted partial nephrectomy	IJU Case Reports. 2021 Dec 2;5(1)	Case report
203	Tsukasa Narukawa	泌尿器科	Efficacy of testosterone replacement therapy plus alternate-day tadalafil for patients with late-onset hypogonadism: An open-label, randomized, crossover study	International Journal of Urology. 2021 Apr;28(4): 376-381	Original Article
204	Saya Ito	泌尿器科	Gene expression profiles during tissue remodeling following bladder outlet obstruction	Scientific Reports. 11(1). 2021 Jun	Original Article
205	Toru Matsugasumi	泌尿器科	Impact of prostate-specific antigen screening on tumor size in patients with prostate cancer in a super-aging district in Kyoto, Japan	International Journal of Clinical Oncology. 2021 Sep;(12):2303-2309	Original Article
206	Takashi Ueda	泌尿器科	Juxtaglomerular cell tumor diagnosed preoperatively by renal tumor biopsy	IJU Case Reports. 2021 Apr 7;4(4):207-209	Case report
207	Atsuko Fujihara	泌尿器科	Multiparametric magnetic resonance imaging facilitates reclassification during active surveillance for prostate cancer	BJU International. 2021 Jun;127(6)712-721	Original Article
208	Yuta Inoue	泌尿器科	Robot-assisted laparoscopic pyeloplasty for ureteropelvic junction obstruction due to aberrant blood vessel with ipsilateral retrocaval ureter	IJU Case Reports. 2021 Jun 3;4(5)	Case report

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
209	Masatsugu Miyashita	泌尿器科	Strategies to Improve the Antitumor Effect of $\gamma \delta$ T Cell Immunotherapy for Clinical Application	International Journal of Molecular Sciences . 2021 Aug 18;22(16):8910	Original Article
210	Fumiya Hongo	泌尿器科	Three-dimensional-printed soft kidney model for surgical simulation of robot-assisted partial nephrectomy: A proof-of-concept study	International Journal of Urology. 2021 Aug;28(8):870-871	Original Article
211	Fumiya Hongo	泌尿器科	Usefulness of intraoperative contrast-enhanced color Doppler ultrasonography for selective renal artery clamping in robot-assisted partial nephrectomy	Journal of Medical Ultrasonics. 2021 Oct;48(4):651-652	Original Article
212	Junichi Mitsuda, Tsujikawa T, Yoshimura K, et al.	耳鼻咽喉科	A 14-Marker multiplexed imaging panel for prognostic biomarkers and tumor heterogeneity in head and neck squamous cell carcinoma	Frontiers in Oncology. 2021 Aug (オンライン)	Original Article
213	Kanako Yoshimura, Tsujikawa T, Mitsuda J, et al.	耳鼻咽喉科	Spatial profiles of intratumoral PD-1+ helper T cells predict prognosis in head and neck squamous cell carcinoma	Frontiers in Immunology. 2021 Oct (オンライン)	Original Article
214	Masakatsu Taki, Hasegawa T, Ninoyu Y, et al.	耳鼻咽喉科	Low-frequency sensorineural hearing loss associated with iron-deficiency anemia	Journal of International Advanced Otolaryngology. 2021 Sep;17:465-7	Case report
215	Shigeru Hirano, Sugiyama Y, Kaneko M, et al.	耳鼻咽喉科	Intracordal injection of basic fibroblast growth factor in 100 cases of vocal fold atrophy and scar	Laryngoscope. 2021 Sep;131:2059-64	Original Article
216	Masakatsu Taki, Hasegawa T, Ninoyu Y, et al.	耳鼻咽喉科	Efficacy of Yokukansan, a traditional Japanese herbal medicine, in patients with dizziness and irritability	Auris Nasus Larynx. 2021 Oct;48:864-9	Original Article
217	Shota Kinoshita, Sugiyama Y, Hashimoto K, et al.	耳鼻咽喉科	Influences of GABAergic inhibition in the dorsal medulla on contralateral swallowing neurons in rats	Laryngoscope. 2021 Oct;131:2187-98	Original Article
218	Satomi Ozawa, Mukudai S, Sugiyama Y, et al.	耳鼻咽喉科	Mechanisms underlying the antifibrotic potential of estradiol for vocal fold fibrosis	Laryngoscope. 2021 Oct;131:2285-91	Original Article
219	Imai Ayu, Matsuoka T, Kato Y, et al.	精神科・心療内科	Diagnostic performance and neural basis of the combination of free- and pre-drawn Clock Drawing Test	Int J Geriatr Psychiatry . 2022 Mar 4;37(4).	Original Article
220	Oya Nozomu, Ayani N, Kuwahara A, et al.	精神科・心療内科	Over Half of Falls Were Associated with Psychotropic Medication Use in Four Nursing Homes in Japan: A Retrospective Cohort Study	Int J Environ Res Public Health . 2022 Mar 7;19(5):3123.	Original Article
221	Matsumoto Yoshihiro, Ayani N, Kitabayashi Y, et al.	精神科・心療内科	Longitudinal Course of Illness in Congenitally Deaf Patient with Auditory Verbal Hallucination	Case Rep Psychiatry . 2022 Feb 12;2022:7426850.	Case report
222	Ueno Daisuke, Daiku Y, Eguchi Y, et al.	精神科・心療内科	Mild Cognitive Decline Is a Risk Factor for Scam Vulnerability in Older Adults	Front Psychiatry . 2021 Dec 20;12:685451.	Original Article
223	Matsumoto Yoshihiro, Ayani N, Omichi C, et al.	精神科・心療内科	Diagnostic error regarding the cause of cytopenia when increasing psychotropic drugs: Two case reports	Asian J Psychiatr . 2022 Jan;67:102952.	Case report

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
224	Sun Weiyi, Matsuoka T, Narumoto J.	精神科・心療内科	Decision-Making Support for People With Alzheimer's Disease: A Narrative Review	Front Psychol . 2021 Nov 12;12:750803.	Review
225	Sun Weiyi, Matsuoka T, Imai A, et al.	精神科・心療内科	Effects of Hearing Impairment, Quality of Life and Pain on Depressive Symptoms in Elderly People: A Cross-Sectional Study	Int J Environ Res Public Health . 2021 Nov 22;18(22):12265.	Original Article
226	Ayani Nobutaka, Matsuoka T, Yamano S, et al.	精神科・心療内科	Depression Relapse during Long-Term Remission due to Media-Amplified Fear during the COVID-19 Pandemic	Case Rep Psychiatry . 2021 Oct 7;2021:5682611.	Case report
227	Matsuoka Teruyuki, Ueno D, Ismail Z, et al.	精神科・心療内科	Neural Correlates of Mild Behavioral Impairment: A Functional Brain Connectivity Study Using Resting-State Functional Magnetic Resonance Imaging	J Alzheimers Dis . 2021 Sep 28;83(3):1221-1231	Original Article
228	Kato Yuka, Matsuoka T, Eguchi Y, et al.	精神科・心療内科	Anxiety Impacts Consent Capacity to Treatment in Alzheimer's Disease	Front Psychol . 2021 Jun 14;12:685430	Original Article
229	Ayani Nobutaka, Morimoto T, Sakuma M, et al.	精神科・心療内科	Antipsychotic Polypharmacy Is Associated With Adverse Drug Events in Psychiatric Inpatients: The Japan Adverse Drug Events Study	J Clin Psychopharmacol . 2021 Jul-Aug;41(4):397-402.	Original Article
230	Oba Hikaru, Matsuoka T, Kato Y, et al.	精神科・心療内科	Attitude toward dementia and preferences for diagnosis in Japanese health service consumers	BMC Health Serv Res . 2021 May 3;21(1):411.	Original Article
231	Yamazaki H, Suzuki G, Aibe N, et al.	放射線科	Posterior Margins in Prostate Cancer Radiation Therapy	International journal of radiation oncology, biology, physics.2021 Apr;109(5):1657-1658.	Letter
232	Yamazaki H, Suzuki G, Aibe N, et al.	放射線科	Could high-dose-rate monotherapy survive beyond stereotactic ablative radiotherapy era for clinically localized prostate cancer?	Radiotherapy and oncology.2021 Dec;20(167):97-98.	Letter
233	Yamazaki H, Suzuki G, Masui K, et al.	放射線科	Novel Prognostic Index of High-Risk Prostate Cancer Using Simple Summation of Very High-Risk Factors	Cancers.2021 Jul;13(14):3486.	Original Article
234	Yamazaki H, Suzuki G, Masui K, et al.	放射線科	Radiotherapy for Clinically Localized T3b or T4 Very-High-Risk Prostate Cancer-Role of Dose Escalation Using High-Dose-Rate Brachytherapy Boost or High Dose Intensity Modulated Radiotherapy	Cancers.2021 Apr;13(8):1586.	Original Article
235	Yamazaki H, Suzuki G, Aibe N, et al.	放射線科	Reirradiation for Nasal Cavity or Paranasal Sinus Tumor-A Multi-Institutional Study	Cancers.2021 Dec;13(24):6315.	Original Article
236	Yamazaki H, Suzuki G, Aibe N, et al.	放射線科	Ultrahypofractionated Radiotherapy versus Conventional to Moderate Hypofractionated Radiotherapy for Clinically Localized Prostate Cancer	Cancers.2021 Dec;14(1):195.	Original Article
237	Yamazaki H, Suzuki G, Aibe N, et al.	放射線科	Fractionation or tumor factors-what matters in carotid blowout syndrome?	STRAHLENTHERAPIE UND ONKOLOGIE.2021 Aug;197(8):744-745.	Original Article
238	Kotani T, Nishimura M, Nagara T, et al.	放射線科	Comparison between dynamic whole-body FDG-PET and early-delayed imaging for the assessment of motion in focal uptake in colorectal area	Annals of Nuclear Medicine.2021 Dec;35(12):1305-1311.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
239	Suzuki G, Masui K, Watanabe S, et al.	放射線科	A successful approach for angiosarcoma of the scalp using helical tomotherapy and customized surface mold brachytherapy: A case report	Medicine.2021 Dec;100(49):e28210.(オンライン)	Case report
240	Suzuki G, Machida K, Asato A, et al.	放射線科	Definitive Radiotherapy for Penoscrotal Extramammary Paget's Disease: A Case Report with Long-Term Follow-Up.	Clin Med Insights Case Rep.2021 Apr;10:14	Case report
241	Nii T, Hosokawa S, Shirako K, et al.	放射線科	Achievements of true whole-body imaging using a faster acquisition of the lower extremities in variable-speed continuous bed motion	Radiological physics and technology.2021 Dec;14(4):373-380.	Original Article
242	Yamazaki H, Suzuki G, Aibe N, et al.	放射線科	Conventional dose versus dose escalated radiotherapy including high-dose-rate brachytherapy boost for patients with Gleason score 9-10 clinical localized prostate cancer	Scientific Reports. 2022 Jan;12(1):268.	Original Article
243	Yamazaki H, Suzuki G, Aibe N, et al.	放射線科	Reirradiation for Rare Head and Neck Cancers: Orbit, Auditory Organ, and Salivary Glands	Cureus. 2022 Feb;14(2):e22727(オンライン)	Original Article
244	Yamazaki H, Masui K, Suzuki G, et al.	放射線科	Comparison of toxicities between ultrahypofractionated radiotherapy versus brachytherapy with or without external beam radiotherapy for clinically localized prostate cancer	Scientific Reports. 2022 Mar;12(1):5055.	Original Article
245	Nagara T, Kotani T, Nishimura M, et al.	放射線科	Dynamic whole-body FDG-PET imaging for oncology studies	Clinical and Translational Imaging.2022 Jan;10:249-258	Review
246	Yamazaki H, Suzuki G, Aibe N,	放射線科	Fractionation or tumor factors-what matters in carotid blowout syndrome?	Strahlenther Onkol. 2021 Aug;197(8):744-745.	Letter
247	Sawa Teiji, Kainuma A, Akiyama K, et al.	麻酔科	Difficult airway management in neonates and infants: knowledge of devices and a device-oriented strategy.	Front Pediatr. 2021 May; 09:654291.	Review
248	Kinoshita Mao, Sawa T.	麻酔科	Serological immune response against major secretory proteins expressed by Pseudomonas aeruginosa upon intratracheal infection in mice.	Respiratory Investigation. 2022 Jan; 60(2):318-321	Original Article
249	Kawai Naofumi, Bando M, Yuasa K, et al.	麻酔科	Comparison of axon extension: PTFE versus PLA formed by a 3D printer.	Open Life Sci. 2022 Mar;31;17(1):302-311.	Original Article
250	Takemura H, Kushimoto K, Horii Y, et al.	疼痛・緩和ケア科	IGF1-driven induction of GPCR kinase 2 in the primary afferent neuron promotes resolution of acute hyperalgesia.	Brain Res Bull. 2021 Dec;177:305-315.	Original Article
251	Miyamoto Y, Matsuyama T, Kunimitsu K, et al.	救急医療科	Hospital at Home for Elderly COVID-19 Patients: A Preliminary Report with 100 Patients.	J Clin Med. 2022 Mar;11(7):1850.	Original Article
252	Okada N, Matsuyama T, Okada Y, et al.	救急医療科	Post-Resuscitation Partial Pressure of Arterial Carbon Dioxide and Outcome in Patients with Out-of-Hospital Cardiac Arrest: A Multicenter Retrospective Cohort Study.	J Clin Med. 2022 Mar ;11(6):1523.	Original Article
253	Watanabe M, Matsuyama T, Oe H, et al.	救急医療科	Impact of cooling method on the outcome of initial shockable or non-shockable out of hospital cardiac arrest patients receiving target temperature management: a nationwide multicentre cohort study.	Ann Intensive Care.2021 Nov;11(1):163.	Original Article

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
254	Miyamoto Y, Matsuyama T, Goto T, et al.	救急医療科	Association between age and neurological outcomes in out-of-hospital cardiac arrest patients resuscitated with extracorporeal cardiopulmonary resuscitation: a nationwide multicentre observational study.	Eur Heart J Acute Cardiovasc Care.2022 Jan;11(1):35-42.	Original Article
255	Miyamoto Y, Ohbe H, Goto T, et al.	救急医療科	Association between intensive care unit admission of a patient and mental disorders in the spouse: a retrospective matched-pair cohort study.	J Intensive Care. 2021 Oct;9(1):69.	Original Article
256	Miyamoto Y, Matsuyama T, Kunimitsu K, et al.	救急医療科	Hospital at Home for Elderly COVID-19 Patients: A Preliminary Report with 100 Patients.	J Clin Med. 2022 Mar;11(7):1850.	Original Article
257	Konishi Eiichi, Outani H, Mano M, et al.	病理診断科	Giant cell tumor of bone - Analysis of 213 cases involving extra-craniofacial bones	Pathology International. 2021 Aug; 71: 500-511	Original Article
258	Miyagawa-Hayashino Aya, Okada S, Takeda-Miyata N, et al.	病理診断科	TTF-1 and c-MYC-defined Phenotypes of Large Cell Neuroendocrine Carcinoma and Delta-like Protein 3 Expression for Treatment Selection	Appl Immunohistochem Mol Morphol. 2021 Apr; 29: 313-320	Original Article
259	Miyagawa-Hayashino Aya.	病理診断科	Liver transplantation alone for common variable immunodeficiency-related liver diseases: A controversial issue	Journal of Liver Transplantation. 2021 Oct; (オンライン)	Original Article
260	Tetsuhiro Yamano, Zen K, Matoba S.	臨床検査部	Similar Left Ventricular Mass Regression But Different Outcomes Between Women and Men Undergoing Transcatheter Aortic Valve Implantation - What Should We Learn From This Conflicting Result?	Circulation Journal 2021;85:989-990. 2021 Jun	Others
261	Ono R, Abe M, Koike N, et al.	歯科	Quantitative morphometric analysis of molar teeth and alveolar bone using micro-computed tomography in aged mice.	Journal of Oral Biosciences. 2021 Jul 27; 63(3): 265-70.	Original Article
262	Nakai K, Yamamoto K, Kishida T, et al.	歯科	Osteogenic response to polysaccharide nanogel sheets of human fibroblasts after conversion into functional osteoblasts by direct phenotypic cell reprogramming.	Frontiers in Bioengineering and Biotechnology. 2021 Sept 3; 9: 713932.	Original Article
263	Okui M, Murakami T, Hongxin Sun H, et al.	歯科	Post-translational regulation of CALHM1/3 channel: N-linked glycosylation and S-palmitoylation.	FASEB Journal 2021 May;35(5):e21527.	Original Article

小計 10

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。 計 263
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet alとする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数. 該当ページ」の形式で記載すること  
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。  
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
----	-------	-----------------------	----	---------------	------

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所 属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Fumitoshi Niwa, Toshiki Mizuno.	総合診療科	Does blood pressure affect risk of cognitive decline and dementia?	Vas Cog J. 2022; 8: 25-8	Review
2	Morita M, Iizuka-Ohashi M, Watanabe M, et al.	内分泌・乳腺外科	Oxidative stress induces EGFR inhibition-related skin cell death.	J Clin Biochem Nutr. 2021 May	Original Article
3	Tomida S, Goodenowe DB, Koyama T, et al.	内分泌・乳腺外科	Plasmalogen Deficiency and Overactive Fatty Acid Elongation Biomarkers in Serum of Breast Cancer Patients Pre- and Post-Surgery-New Insights on Diagnosis, Risk Assessment, and Disease Mechanisms	Cancers. 2021 Aug	Original Article
4	Amaya F.	疼痛・緩和ケア科	Journal of anesthesia, history, current status, and future direction.	J Anesth. 2021;35:165-167	Others
5	Norikazu Hishikawa, Sawada K, Mikami Y et al.	リハビリテーション科	Foot orthosis treatment improves physical activity but not muscle quantity in patients with concurrent rheumatoid arthritis and sarcopenia	Modern Rheumatology, 31, 997-1003, 2021.May	Original Article

計 5

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 手順書の主な内容 学長の業務、研究者等の責務等、研究責任者の業務、他機関への既存資料・情報等の提供、審査委員会の事務・審査記録の保存、講習の受講、データベースの登録	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 12 回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。  
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
・ 規定の主な内容 「京都府公立大学法人の利益相反の管理に関する規程」…利益相反の管理や判断基準等を規定 「京都府立医科大学利益相反委員会規程」…設置目的や組織編成等について規定 「京都府立医科大学臨床研究に係る利益相反の管理に関する取扱規程」…臨床研究における利益相反の管理について規定	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 11 回

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 13 回
・ 研修の主な内容 「研究倫理の原則とその歴史」 「事例から考える研究公正」 「データマネジメントとモニタリング」 「臨床試験のプロトコル作成と実施におけるポイント」 「臨床研究をめぐる知的財産」 「生物統計学の理論と実践」 「個人情報保護法改正と医学系研究について」	

- (注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

各診療科において、専門医・認定医取得のための高度な医療知識・スキルを習得させる。  
(プログラムは各科ごとに作成)

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数 230 人

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
井上 健	消化器内科	助教	19年	
中村 猛	循環器内科	准教授	27年	
桐田 雄平	腎臓内科	助教	14年	
金 永学	呼吸器内科	講師	26年	
岡田 博史	内分泌・糖尿病・代謝内科	助教	18年	
水谷 信介	血液内科	学内講師	16年	
和田 誠	膠原病・リウマチ・アレルギー科	助教	24年	
田中 瑛次郎	脳神経内科	助教	16年	
松原 慎	総合診療科	助教	10年	
塩崎 敦	消化器外科	講師	25年	
沼田 智	心臓血管外科	准教授	27年	
前田 吉宣	小児心臓血管外科	助教	22年	
下村 雅律	呼吸器外科	講師	20年	
大西 美重	内分泌・乳腺外科	助教	10年	
昇 修治	移植・一般外科	講師	24年	
文野 誠久	小児外科	学内講師	25年	
河原崎 彩子	形成外科	講師	20年	
丸山 大輔	脳神経外科	助教	20年	
白井 寿治	整形外科	准教授	26年	
藁谷 深洋子	産婦人科	講師	20年	
河井 容子	小児科	助教	21年	
鎌田 さや花	眼科	助教	17年	
浅井 純	皮膚科	講師	21年	
山田 剛司	泌尿器科	学内講師	16年	
辻川 敬裕	耳鼻咽喉科	学内講師	18年	
阿部 能成	精神科・心療内科	助教	12年	
高畑 暁子	放射線科	助教	21年	
山田 知見	麻酔科	助教	13年	
小川 覚	疼痛・緩和ケア科	講師	16年	
沢田 光思郎	リハビリテーション科	准教授	19年	
山本 俊郎	歯科	講師	26年	
森永 友紀子	病理診断科	助教	15年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
R3.4.21 Synergy PlatForm, MicroSelectron HDR-V3, ProBeat CR, Radixact X9 研修会 16名（臨床工学部）
R3.5.13 臨床栄養スキルアップ勉強会「食物アレルギーについて」15名（栄養課）
R3.5.18 ICU人工呼吸器勉強会 10名（臨床工学部）
R3.5.20 緊急時対応訓練（アナフィラキシーショックへの対応） 18名（放射線技術課）
R3.5.27 ICU人工呼吸器勉強会 7名（臨床工学部）
R3.6.10 臨床栄養スキルアップ勉強会「セレンについて」15名（栄養課）
R3.6.18 臨床工学補助循環（impella）勉強会 22名（臨床工学部）
R3.6.29 ICUペースメーカー勉強会 4名（臨床工学部）
R3.7.8 臨床栄養スキルアップ勉強会「骨粗鬆症・大腿骨近位部骨折・創傷治癒・褥瘡」14名（栄養課）
R3.8.13 臨床栄養スキルアップ勉強会「がん悪液質と治療薬について」13名（栄養課）
R3.8.27 ICU除細動器勉強会 3名（臨床工学部）
R3.8.27-9.13 ICU人工呼吸器勉強会 25名（臨床工学部）
R3.9.1-13 D3人工呼吸器勉強会 20名（臨床工学部）
R3.9.9 臨床栄養スキルアップ勉強会「歯科と栄養について」16名（栄養課）
R3.9.9 ICU血液浄化勉強会 参加人数：13
R3.9.9 MicroSelectron HDR-V3研修会 31名（臨床工学部）
R3.10.7-8 看護部人工呼吸器勉強会 104名（臨床工学部）
R3.10.14 臨床栄養スキルアップ勉強会 「小児ミキサー食、とろみ剤、嚥下調整食学会分類変更について」15名（栄養課）
R3.11.11 臨床栄養スキルアップ勉強会「妊娠と栄養」15名（栄養課）
R3.11.22 看護部2年目人工呼吸器勉強会 38名（臨床工学部）
R3.11.12-30 NICU保育器勉強会 3名（臨床工学部）
R3.11.26 ICU手術部補助循環（impella）勉強会 28名（臨床工学部）
R3.12.9 臨床栄養スキルアップ勉強会「精神科・心療内科での業務について」14名（栄養課）
R4.1.13 臨床栄養スキルアップ勉強会「陽子線・重粒子線・BNCT治療について」14名（栄養課）
R4.2.17 臨床栄養スキルアップ勉強会「新しい栄養剤について」13名（栄養課）
R4.3.10 臨床栄養スキルアップ勉強会「B I A法について」15名（栄養課）
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
R3.9.9 放射線治療機器安全使用に関する研修（特定 RI に係る防護措置について）18名（放射線技術課）
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
特になし

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ② 現状
管理責任者氏名	病院長 夜久 均
管理担当者氏名	副局長 (附属病院担当) 四方 裕二

		保管場所	管理方法		
診療に関する諸記録	規則第二十一条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	診療情報管理室 病棟 調剤室 病院管理課	・カルテは電子カルテと紙カルテの2種類を管理及び保管。平成20年1月から電子カルテシステムを導入しており、それ以前の紙カルテ(手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の経過記録の要約等)は、診療情報管理室に保管。 ・処方箋は調剤室。 ※診療録を病院外に持ち出すことは「診療記録貸出・返却要領」で禁止している。	
		各科診療日誌			
		処方せん			
		手術記録			
		看護記録			
		検査所見記録			
		エックス線写真			
		紹介状			
退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書					
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十一条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	・電子データ及び帳票類を各箇所管理している。  ※院外への持ち出しは基本的に不可としている。	
		高度の医療の提供の実績	経理課		
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	病院管理課		
		高度の医療の研修の実績	病院管理課		
		閲覧実績	病院管理課		
		紹介患者に対する医療提供の実績	経理課		
	掲げる事項	規則第一条の十一第一項に	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	経理課	
			医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進部	・電子データ及び帳票類を各箇所管理している。  ※院外への持ち出しは基本的に不可としている。
			医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全推進部	
			医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進部	
			医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全推進部	

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染対策部	<p>・電子データ及び帳票類を各箇所管理している。</p> <p>※院外への持ち出しは基本的に不可としている。</p>
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	臨床工学部	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部 医療安全推進部			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全推進部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策部
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全推進部
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	診療情報管理室
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全推進部
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医療安全推進部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医療安全推進部
		監査委員会の設置状況	医療安全推進部
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全推進部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全推進部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全推進部
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	法人本部総務室
		職員研修の実施状況	医療安全推進部
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全推進部
管理者が有する権限に関する状況	総務課		
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	法人本部総務室		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	法人本部総務室		

・電子データ及び帳票類を各箇所管理している。  
 ※院外への持ち出しは基本的に不可としている。

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

## 病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画    ② 現状
閲覧責任者氏名	病院管理課長 松本 浩成
閲覧担当者氏名	病院管理課課長補佐兼係長 堀本 朋之
閲覧の求めに応じる場所	病院管理課総務調整係
閲覧の手続の概要 閲覧請求者の住所、氏名、請求記録名、閲覧理由を聴取した上で、請求のあった記録を所管する部署から該当資料を取り寄せ、病院管理課内で閲覧に供する。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

### ○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指針の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療事故を防止し、安全かつ適切な医療を提供する体制</li> <li>・ 安全管理のための基本的な考え方</li> <li>・ 安全管理のための組織</li> <li>・ 医療事故発生時の対応</li> <li>・ 医療事故及びインシデント報告制度</li> <li>・ 職員の教育・研修及び啓発</li> <li>・ 患者相談窓口</li> <li>・ 患者本位の医療の提供</li> <li>・ 診療行為に内在する危険防止のために必要な情報を患者に提供</li> </ul> </li> </ul>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置の有無（有・無）</li> <li>・ 開催状況：年 12 回</li> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 安全管理のための指針の策定及び変更</li> <li>・ 院内で発生した医療事故、インシデントの調査分析、再発防止策の立案・実施</li> <li>・ 安全管理のための教育・研修及び啓発の検討</li> </ul> </li> </ul>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 6 回
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医薬品の安全管理に関する最近の話題（オンライン、DVD貸し出し）</li> <li>・ 医療安全にかかわる院内の重要な取り決めについて（オンライン、DVD貸し出し）</li> <li>・ せん妄を知らう2021～ABC Delirium～（オンライン、DVD貸し出し）</li> <li>・ 院内発症脳梗塞診断 Speed Upを目指して（オンライン、DVD貸し出し）</li> <li>・ 病院機能評価を受診して～カルテレビューを中心に～（ウェビナー、オンライン）</li> <li>・ 悪質クレーム対応研修会（DVD貸し出し）</li> </ul> </li> </ul>	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機関内における事故報告等の整備（有・無）</li> <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>・ オカレンス報告の実施</li> <li>・ 職員間での情報共有と注意喚起のためのインシデント事例等を掲載した「医療安全推進部ファイル」の作成 供覧</li> <li>・ 医療安全レターによる情報提供と注意喚起</li> <li>・ 急変対応ワーキングチームによるシステムの見直し、院内蘇生講習</li> <li>・ 医療安全のための院内ラウンドの実施</li> </ul> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>院内感染対策に関する基本的な考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 院内感染対策のための委員会その他の当該病院等の組織に関する基本事項</li> <li>・ 院内感染対策のための従事者に対する研修に関する基本方針</li> <li>・ 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li> <li>・ 院内感染発生時の対応に関する基本方針</li> <li>・ 患者への情報提供と説明に関する基本方針</li> <li>・ 病院における院内感染対策の推進における基本方針</li> </ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 感染症発生状況（対応状況も含む）</li> <li>・ MRSA等耐性菌の発生状況報告（対応状況も含む）</li> <li>・ 抗MRSA薬、抗緑膿菌活性を有する抗菌薬等の使用状況報告（適正使用に関する指導状況も含む）</li> <li>・ 擦式手指消毒用アルコール製剤の使用状況報告</li> <li>・ 新型コロナウイルス感染症の流行状況と院内での対応の報告（対応状況も含む）</li> <li>・ その他院内感染対策の推進に関する方策の検討</li> </ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年5回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ①AMR薬剤耐性 ②COVID-19禍における抗菌薬適正使用（視聴覚研修・DVD貸出）</li> <li>・ COVID-19の検査とワクチン（視聴覚研修・DVD貸出）</li> <li>・ COVID-19（感染対策上の視点から）</li> <li>・ 薬剤耐性菌と抗菌薬適正使用「かぜ」と「腸炎」を考える（視聴覚研修・DVD貸出）</li> <li>・ インフルエンザのくすりと感染対策</li> </ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （有・無）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 各所属に「感染対策推進員」を配置し、院内感染対策の推進や院内感染事例が疑われた際、感染対策部との連携を図り迅速な初動につなげている。</li> <li>➤ 看護部門には推進員とは別に「リンクナース」を配置し、2か月～3か月に1回の定期的な会を開催し院内感染対策の推進を図っている。</li> <li>➤ 感染症情報やその対応について、院内主要会議でのアナウンスを行い、電子カルテシステムの掲示板の活用等の手段により随時周知徹底を図っている。</li> <li>➤ 新型コロナウイルス感染症の流行状況と院内対応に関する検討、そして対策として立案された内容を周知するために週に2回程朝に関連部署代表らによる検討の場を設けている。また、その内容を院内へ周知するために週に1回、web会議として院内所属長に向けた連絡会を実施している。</li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 7 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>&lt;全職員対象&gt;  ○医薬品安全管理セミナー「最近の医薬品安全対策」  オンデマンド配信：2021/5/1～31：855名</p> <p>&lt;新規採用者対象&gt;  ○新規採用者オリエンテーション「医薬品のオーダ上の留意点」  e-learning 150名  ○研修医、歯科研修医オリエンテーション  e-learning 89名</p> <p>&lt;薬剤師対象&gt;  ○新人薬剤師対象「医薬品の適正使用と適正管理」  開催日：2021/4/6：2名  ○中途採用薬剤師対象「同上」  開催日：2021/10/6：1名</p> <p>&lt;その他&gt;  ・病棟薬剤師による各病棟での学習会等（6回、計51名）  ・担当薬剤師による手術室新規配属医師への麻薬・筋弛緩薬の取扱い（11回、計41名）</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 （有・無）</p> <p>・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容：</p> <p>1) 業務手順書に基づく年2回の業務チェックと手順書の見直し  ・係長以上で年2回、業務手順書の再点検をし、医療に関する安全管理対策会議に諮った上で手順書を改定</p> <p>2) 医薬品安全管理に関する院内ラウンド  ・係長以上で年1回、全部署を訪問。手順書に基づく業務の遂行、特に医薬品や鍵、注射シリンジ等の管理状況、救急カート薬や備品の安全な使用、口頭指示の適切な運用、薬剤部から発信している情報の共有状況、輸液ソフトバックを取り扱う際のピンホールの有無のチェック、PTPシートの誤飲対策等を確認</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （有・無）</p> <p>・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：</p> <p>ハブリックス（A型肝炎ワクチン）、タイフィム（腸チフスワクチン）、ベロラボ（狂犬病ワクチン）、プリオリックス（麻疹・風疹・ムンプスワクチン）ブーストリックス（破傷風・百日咳・ジフテリアワクチン）を渡航ワクチン外来で使用</p>	

・ その他の改善のための方策の主な内容：

1) 未承認薬、適応外処方等の情報収集等

- ①医学倫理審査委員会、臨床倫理委員会でのかかわり
  - ・未承認薬及び適応外処方の審査及び安全な投与に向けた介入
- ②薬剤部内・病棟内でのかかわり
  - ・未承認薬の持込 → 入退院センター業務、病棟薬剤業務、DI業務の中で把握
  - ・病棟での適応外使用 → 病棟薬剤業務の中で把握

2) 院内での医薬関連事故等の把握と対策

- ①医療に関する安全管理対策委員会、医療安全サポート会議での検討（各月1回）
- ②医薬品安全管理委員会での検討（月2回）
  - ・アクシデント事例、ヒヤリハット事例の共有と対策の立案
  - ・未承認薬の処方状況の把握と共有

3) 薬剤部での通常の実行（主なもの）

- ①DIニュースの発行（月1回）
- ②緊急安全性情報・安全性速報、厚労省医薬品・医療機器等安全性情報の他、重要な通知に関する電子カルテへの掲示、院内配布
- ③重要な情報は患者を特定し処方医に文書で通知し、確認印の押されたものを薬剤部で回収
- ④粉碎・一包化の可否情報、麻薬Q&A等薬剤部で加工した文書の電子カルテへの掲示
- ⑤向精神薬の重複処方・過剰処方のモニタリングと注意喚起
- ⑥注射薬ラベルへのルート・フィルター選択上の注意記載
- ⑦トレーシングレポートシステム、フォローアップシートの推進

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 13 回
<p>研修の主な内容：人工呼吸器の取り扱い、人工呼吸管理、補助循環、ペースメーカー、新規導入機器、血液浄化、汎用型医療機器（輸液ポンプ、シリンジポンプ、吸引器）、放射線機器、他</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無)</li> <li>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：MEセンターによる年2回の定期点検、特定保守管理機器(生命維持管理装置関連)の臨床工学技士またはメーカー点検点検計画に沿って実施</li> </ul>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</li> <li>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：</li>   <li>・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>院内での医療機器に関する医療事故関連情報の把握：医療安全サポート会議(1回/月)</li> <li>医療に関する安全管理対策委員会への参加(1回/月)</li> <li>医療機器管理部からの医療機器関連安全並びに取扱い方法に関する情報の発信：MEセンター通信の発行(4回/年)</li> <li>重大な安全性情報に関しては医療安全推進部と協議し、連名で院内に案内を発出</li> </ul> </li> </ul>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師）</p> <p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全担当の副病院長、医療に関する安全管理対策委員会の委員長として病院全体の安全に関わる事柄を統括し指示・指導を行っている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（3名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>医薬品情報室において、院内の医薬品の使用状況を月1回確認している。その結果を踏まえて、添付文書情報（禁忌等）、緊急安全性情報、未承認医薬品の使用時又は医薬品の適応外使用時の安全管理に係る情報を整理し、医薬品安全管理責任者に報告する。</p> <p>緊急安全性情報、医薬品・医療機器等安全性情報、医薬品の回収情報など周知徹底の必要な情報は、既に電子媒体や紙媒体など複数の方法によって確実かつ速やかに提供している。</p> <p>特に重要な情報については、処方患者を特定し処方医に注意文書を配布するとともに、処方医に関連印を取った後、回収することによって、周知を徹底している。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>*申請書、同意書の確認。</p> <p>*使用の妥当性に関する情報収集と事前審査。</p> <p>*使用後のモニタリング。</p> <p>・担当者の指名の有無（有・無）</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>（所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p>	

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
<p>・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有・無)</p> <p>・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容        : 全身麻酔手術を実施する症例を中心に、説明同意書や診療録を確認し、定められた事項の遵守状況の点検を行い、必要時、指導を行っている。院内全体に周知が必要な内容は、臨床部長会、診療科長会議、合同師長会などで周知を行っている。</p>	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：        「退院時要約」、「手術記録」、「入院診療計画書」、「継続看護記録」について作成の有無を確認するなど診療記録の量的点検に取り組んでいる。</p> <p>また、「診療記録記載指針」を策定し、記載すべき項目や留意点を示して職員研修を実施するとともに、医師、看護師、コメディカルからなるWGにより診療記録の点検及び意見交換を行い、その結果を各所属にフィードバックすることで、診療記録の質的向上にも取り組んでいる。</p>	

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（４）名、専任（１）名、兼任（９）名        うち医師：専従（１）名、専任（１）名、兼任（１）名        うち薬剤師：専従（１）名、専任（０）名、兼任（２）名        うち看護師：専従（２）名、専任（０）名、兼任（１）名        （注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療事故、インシデント、オカレンスに係る報告のとりまとめ</li> <li>・ 医療事故、インシデントの発生原因の調査、分析</li> <li>・ 安全対策の実施状況、医療事故発生時の対応状況に関する調査、確認、指導</li> <li>・ 安全管理のための教育、研修の実施</li> <li>・ 安全対策の推進</li> <li>・ 院内死亡事例の確認と病院長への報告</li> <li>・ インフォームド・コンセント実施要綱に従った説明同意書の作成推進と要綱の遵守状況の点検</li> <li>・ 集中治療部門、手術部門、内視鏡部門、放射線部門で一定の基準以上の事象が発生した事例の把握（オカレンス報告）、入院患者の転倒・転落発生率・心肺蘇生実施の把握などのモニタリングの実施</li> </ul> <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p> <p>※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>	

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 5 件）、及び許可件数（ 4 件）
- ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（  有 ・  無 ）
- ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（  有 ・  無 ）
- ・活動の主な内容：

高難度新規医療技術による医療を行う場合に、実施の適否等について審査及び承認を行うほか、当該医療を行う職員の遵守事項等の遵守状況を実施結果報告書により確認している。

高難度新規医療技術導入審査委員会 4 回開催
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（  有 ・  無 ）
- ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（  有 ・  無 ）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（ 9 件）、及び許可件数（ 9 件）
- ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（  有 ・  無 ）
- ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（  有 ・  無 ）
- ・活動の主な内容：

未承認薬等を使用する医療を行う場合に、実施の適否等について審査及び承認を行うほか、当該医療を行う職員の遵守事項等の遵守状況を実施結果報告書により確認している。

臨床倫理承認委員会 6 回開催
- ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（  有 ・  無 ）
- ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（  有 ・  無 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 218 件
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 64 件
- ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容  
発生した事例の調査分析、並びに再発防止策の立案及び実施。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（有）（病院名：神戸大学医学部附属病院）・無
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有）（病院名：京都大学医学部附属病院）・無
- ・技術的助言の実施状況  
書面による実施のため、助言は特になし

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

「患者相談等に関する要綱」に基づき、平成15年4月1日から「患者相談窓口」（医療サービス課所管）を設置し、MSW、専門相談員（事務職員）等が、平日の8時45分から17時まで対応している。

その際に、患者、家族等からの相談、要望、意見等を専門相談員・MSWがお聞きし、必要な場合は医療安全推進担当者等の各専門担当者に引き継ぐなど行い対応、支援することとしている。

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

全職員を対象とした医療安全研修会として、医療安全にかかわる院内の取り決めや、新たに開始となった脳梗塞診療体制、安全な医療を行うために必要な知識、診療記録に関する内容について研修を実施した。また、新採用者、研修医に対しては、インシデント・アクシデント報告の流れ、具体的事例の改善策についての研修を実施した。

研修内容

- ・研修医、新人看護職員対象「医療安全対策について」 202名
- ・新採用医師、新採用医療技術職対象「医療安全について」150名
- ・医薬品の安全管理に関する最近の話題（オンライン、DVD）1444名
- ・医療安全にかかわる院内の重要な取り決めについて（オンライン、DVD）1269名
- ・せん妄を知ろう 2021～ABC Delirium～（オンライン、DVD）1173人
- ・院内発症脳梗塞診断 Speed Up を目指して（オンライン、DVD）1241人
- ・病院機能評価を受診して～カルテレビューを中心に～（ウェビナー、オンライン）452人
- ・悪質クレーム対応研修会（DVD）237人

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者：

日本医療機能評価機構 2021年度特定機能病院管理者研修受講（2022/1/25）

医療安全管理責任者：

日本医療機能評価機構 2021年度特定機能病院管理者研修受講（2021/12/15）

医薬品安全管理責任者：

日本医療機能評価機構 2021年度特定機能病院管理者研修受講（2021/12/23）

医療機器安全管理責任者：

日本医療機能評価機構 2021年度特定機能病院管理者研修受講（2021/12/8）

（注）前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・第三者による評価の受審状況

（公財）日本医療機能評価機構実施の病院機能評価を受審（受審区分：一般病院3）

※受審年月：令和4年8月 ※現在、結果通知待ち

※認定期間：平成28年3月20日～令和3年3月19日

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う審査特例措置により認定期間を延長

・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

評価の結果（認定等）については、病院のHP及び院内に掲示で公表している。

・評価を踏まえ講じた措置

前回評価後、職員の安全衛生管理について指摘を受けた項目については、専門コンサルへの改善依頼、施設設備を新設する等の対応を講じており、引き続き改善活動を実施している。

（注）記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基準の主な内容           <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学内外を問わず、日本国の医師免許を有する者</li> <li>(2) 附属病院の理念及び基本方針に基づいた病院運営を行う能力を有する者</li> <li>(3) 医療安全管理業務の経験、患者の安全を第一に考える姿勢及び指導力等を有する者</li> <li>(4) 病院での組織管理経験及び高度な医療を司る特定機能病院の管理運営上必要な資質及び能力を有する者</li> </ol> </li> <li>・ 基準に係る内部規程の公表の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )</li> <li>・ 公表の方法 法人のホームページで公表</li> </ul>
--

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )</li> <li>・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )</li> <li>・ 公表の方法 法人のホームページで公表</li> </ul>	

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
藤井 和男	公立大学法人本部	今年度開催の委員会で選任予定	選考等に関する規程第2条第3項第1号	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
竹中 洋	京都府立医科大学		選考等に関する規程第2条第3項第2号	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
橋本 直哉	同 脳神経外科学		選考等に関する規程第2条第3項第3号	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
夜久 均	同 附属病院		選考等に関する規程第2条第3項第4号	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
佐和 貞治	同 附属病院 医療安全推進部		選考等に関する規程第2条第3項第5号	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
藤本 早和子	同 附属病院看護部		選考等に関する規程第2条第3項第6号	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
四方 裕二	同 附属病院事務部		選考等に関する規程第2条第3項第6号	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
岡村 吉隆	誠佑記念病院		選考等に関する規程第2条第3項第7号	有 <input type="radio"/> 無
松田 晋哉	産業医科大学		選考等に関する規程第2条第3項第7号	有 <input checked="" type="radio"/> 無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	(有)・無
<p>・合議体の主要な審議内容</p> <p>(1) 京都府立医科大学附属病院の運営方針に関すること。</p> <p>(2) 附属病院の中期計画・年度計画に関すること。</p> <p>(3) 附属病院の予算・決算に関すること。</p> <p>(4) その他附属病院の運営に関する重要な事項に関すること。</p> <p>・審議の概要の従業者への周知状況</p> <p>会議での審議の概要については、臨床部長会等で周知を行う。</p> <p>・合議体に係る内部規程の公表の有無 ( 有・(無) )</p> <p>・公表の方法</p> <p>・外部有識者からの意見聴取の有無 ( (有)・無 )</p>	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
夜久 均	○	医師	病院長
井上 匡美		医師	副病院長
的場 聖明		医師	副病院長
福井 道明		医師	副病院長
藤本 早和子		看護師	副病院長、看護部長
四方 敬介		薬剤師	薬剤部長
中田 克哉		放射線技師	医療技術部長
四方 裕二		事務	事務局副局長 (事務部長)
松本 浩成		事務	病院管理課長
山口 正樹		事務	医療サービス課長
田川 裕隆		事務	総務課長
木森 優		事務	経理課長
松井 一男		事務	企画広報課長
岡下 武生		事務	情報・研究支援課長
吉田 光宏		事務	経理課参事
奥田 敏博		事務	経営改善担当部長

## 規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

### 管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ **管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無** (  有 ・  無 )

- ・ **公表の方法**

学内HPに掲載 (他の大学規程と同様の取扱い)

- ・ **規程の主な内容**

- ・ 京都府立医科大学附属病院規程

第5条第3項 病院長は、本院の管理運営を統括するとともに次の事項を専行するものとする。 (以下略)

- ・ 京都府立医科大学附属病院規程

第6条第3項 教授の職にある副病院長は、病院長又は病院長予定者が診療部長の職にある者の中から指名するものとする。

※京都府立医科大学附属病院規程において、病院内の各役職ごとに、病院長が指名する旨を同様に規定

- ・ 京都府立医科大学附属病院管理運営会議規程

第2条 (所掌事項) 第3号 附属病院の予算・決算に関すること。

第4条 (会議) 病院長は、会議を招集し、その議長となる。

- ・ **管理者をサポートする体制 (副院長、院長補佐、企画スタッフ等) 及び当該職員の役割**

管理者をサポートする体制として、以下の会議を規程により設置

- ・ 病院管理運営会議 (病院の運営方針等を決定する合議体。病院長、副病院長等で構成)

- ・ 病院経営改善推進会議

(病院の経営改善の方針、運営を審議。学長、副学長、病院長、副病院長等で構成)

- ・ 病院経営改善企画会議

(病院の運営方針の企画、管理運営を審議。病院長、副病院長等で構成)

- ・ 臨床部長会 (病院の運営、診療を審議。診療部長等で構成)

他に、個別の課題に対応するため、医療材料検討委員会など、病院長、担当副病院長が出席する委員会を設置している。

- ・ **病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況**

- ・ 病院長の指名により副病院長、薬剤部長、医療技術部長等の管理職員を配置している。また、中央部門の長等及び各種委員会の委員についても病院長が指名している。

- ・ 病院長、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者について、日本医療機能評価機構による「特定機能病院管理者研修」を受講

- ・ 外部講師による「病院経営改善セミナー」に病院長及び管理職員が参加

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する  
状況

監査委員会の設置状況	有・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院の医療安全推進部、医療に関する安全対策委員会、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者等の業務の状況について、病院長から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を行う。</li> <li>・ 必要に応じ、医療に係る安全管理については是正措置を講ずるよう意見を表明する。</li> <li>・ 監査の結果について速やかに公表する。</li> </ul> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（有・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（有・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（有・無）</p> <p>・ 公表の方法：京都府公立大学法人のホームページに掲載</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
松村 由美	京都大学医学 部附属病院	○	特定機能病院の 医療安全管理体制に精通している。	有・無	1
平野 哲郎	立命館大学法 科大学院法務 研究科		法律研究者として 関係の法律に 精通している。	有・無	1
伊藤 英樹	広島大学病院 医療安全管理 部		医療安全管理に 関する専門的知識 を有している。	有・無	1
秋篠 憲一			本院の患者として 医療を受ける 者の代表	有・無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

京都府公立大学法人コンプライアンス推進規程

京都府公立大学法人コンプライアンス委員会設置要綱

公立大学法人総務・経営担当理事を委員長とし、法人所管の2大学の学長、法人の教職員の身分を有していない理事のほか、コンプライアンスに関する有識者で構成するコンプライアンス委員会において、コンプライアンスの推進に係る制度の実施状況の把握、点検、評価等を行うとともに、通報事案の解決策の明示、再発防止策の策定を行う。

・ 専門部署の設置の有無 (  有  無 )

・ 内部規程の整備の有無 (  有  無 )

・ 内部規程の公表の有無 (  有  無 )

・ 公表の方法

コンプライアンス推進規程及び内部通報制度に関する要綱を京都府公立大学法人のホームページに掲載

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況            京都府公立大学法人理事会            病院長は理事として出席            規程に理事会の所掌として明記の上、病院の業務実績等について定期的に報告する等病院業務の監督を実施</li> <li>・ 会議体の実施状況（ 年11回 ）</li> <li>・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ <input checked="" type="radio"/> 有・無 ）（ 年11回 ）</li> <li>・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ <input checked="" type="radio"/> 有・無 ）</li> <li>・ 公表の方法            京都府公立大学法人のホームページに掲載</li> </ul>			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )</li><li>・ 通報件数 (年 0 件)</li><li>・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )</li><li>・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )</li><li>・ 周知の方法 京都府公立大学法人及び京都府立医科大学附属病院ホームページに掲載 京都府立医科大学コンプライアンス指針に掲載 (教職員研修等で周知)</li></ul>

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類 (任意)

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<p>・ 情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>病院ホームページに本院の特定機能病院としての医療提供に係る特色、病院の理念・基本方針各種指定の状況等について掲載し、情報発信を行っている。</p> <p>また、患者向け広報誌を発行 (年 3 回) し、院内での取組等について、定期的に情報発信を行っている。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<p>・ 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>外来では、消化器センター、循環器センター、呼吸器センターなど 7 つのセンターで、複数診療科が連携して診療対応に当たっている。</p>	